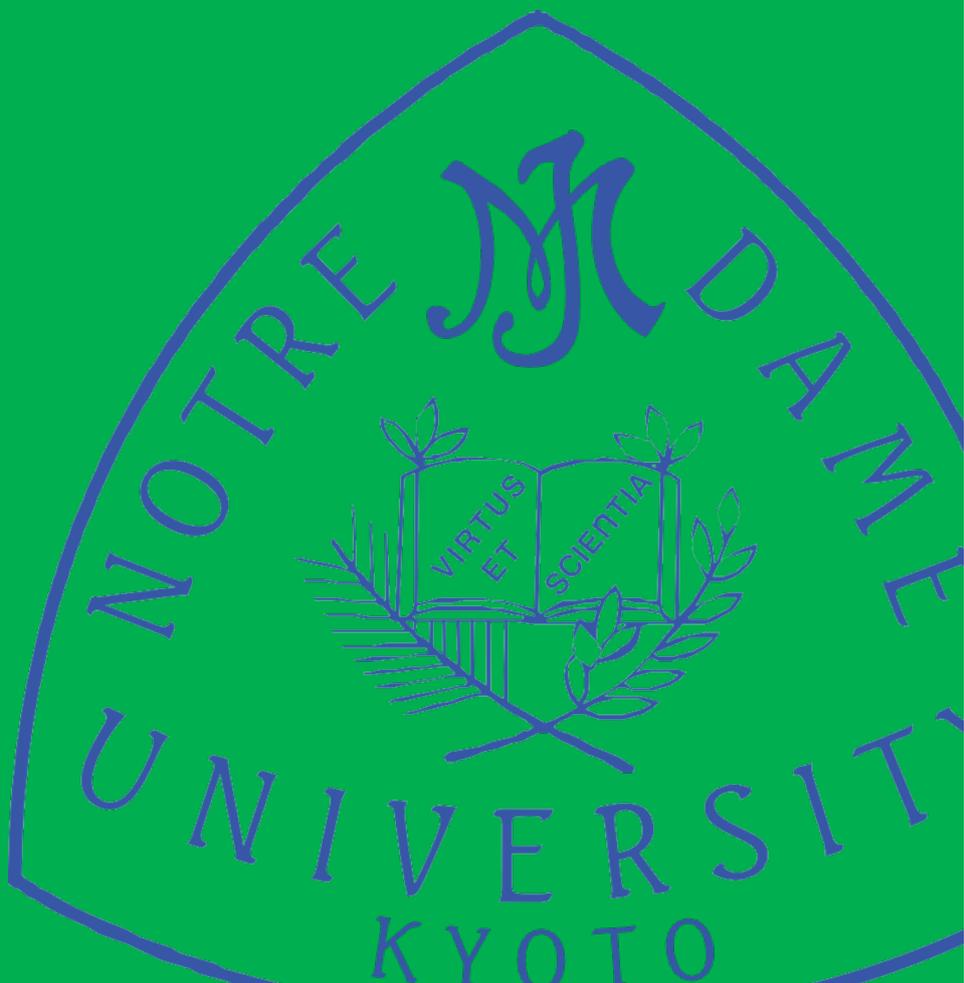


2017(平成29)年度

FD報告書



京都ノートルダム女子大学



はじめに

平成 29 年度の FD 活動を振り返り、ご報告申し上げます。今年度、本学は生活福祉文化学部と心理学部を改組し、現代人間学部を開設いたしました。現代人間学部は、福祉生活デザイン学科、心理学科、こども教育学科の 3 学科があり、4 月に一期生を迎えました。FD 委員会も学部新設に合わせ、新メンバーとしてこども教育学科から 1 名の教員が加わって、今後は人間文化学部（英語英文学科、人間文化学科）から 2 名、現代人間学部（福祉生活デザイン学科、心理学科、こども教育学科）から 3 名で構成されることになりました。

本学の FD 委員会の規定では、委員会の目的を、「建学の理念及び教育目標に基づき、教員の資質向上と教育研究活動の充実・発展の推進（第 2 条）」とし、その業務は FD 活動に関しての、(1)企画立案、(2)実施計画の策定と評価、(3)報告、(4)情報収集と提供、(5)関係団体との連携等、と定めています（第 3 条）。

FD 委員会は、上記の規定に沿って FD 活動を具現化してゆくこととなりますが、まずは(1)の企画立案に関わる活動として、一年間の活動の概要を年初に決定し、これに沿って(2)～(5)の活動の詳細を、毎月開催される委員会で審議・決定して参りました。今年度については、年初の委員会において“前年度の活動内容や実績を踏まえ、改善すべき点や発展可能性を検討して行く”という方針が決定されました。そこで、この決定に沿って次の事業を企画し、実施いたしました。

1. 学部生による授業評価アンケートを前期と後期に、大学院生による教育評価アンケートを後期に実施しました。また、アンケートの結果を教員に伝え、教員は受講生に向けたフィードバックを行い、この内容を学内で共有しました。なお、この事業は来年度（平成 30 年度）から、従来の紙媒体ではなく Web による実施に移行することから、一部授業では試行的に Web による授業評価が導入されました。
2. 年間 3 回の学内研修会（うち、1 回は全学研修会）を実施しました。複数回の開催により、教職員の学ぶ機会を確保するようにしました。
3. オープンクラスは、原則、全ての学部授業を公開とし、今年度は後期 3 週間をオープンクラスウィークとして、教職員や学生が自由に授業を参観できるようにしました。参観者からのコメントは被参観の教員にフィードバックし、授業改善や学生の学びを理解する一助となるようにしました。
4. メール等の手段により、外部講演会や研修会等の FD に関連する情報提供を適宜行い、教職員への啓発に勤めました。本学は公益財団法人 大学コンソーシアム京都の加盟校として、第 23 回の FD フォーラム「FD のこれまでと、これから～多様な角度から FD について考える～」にも積極的に関与し、今年度も FD 委員が一分科会「リベラルアーツ教育の展望」をコーディネートして、全国に向けた FD 活動の普及や情報発信、関係機関との交流・連携の機会を持ちました。

本報告書では、以上の活動を様々なデータをもとに紹介し、本学の教育活動の現状と今後の課題についてまとめております。ご一読を賜り、本学の教育・研究の更なる発展と向上に役立てていただけますよう、お願いを申し上げます。昨今の学生気質の変化や教育・研究環境の変化に対応しつつ、全教職員が継続的かつ発展的に FD 活動に取り組んで行けますよう、FD 委員会では今後も様々な活動を推進して行きたいと考えています。

2018 年（平成 30 年）3 月

京都ノートルダム女子大学
FD 委員会委員長 向山泰代

目 次

はじめに	1
I 2017（平成 29）年度「学生による授業評価アンケート」実施報告	5
1. 実施目的	5
2. 実施方法	5
3. 集計結果	9
(1) 【全学部】	10
(2) 【授業形態別】	11
1) 講義	12
2) 演習	14
3) 実習	16
4) 卒業研究	18
(3) 【開講所属別】	20
1) 共通教育科目	21
2) 現代人間学部共通科目	23
3) 英語英文学科専門教育科目	25
4) 人間文化学科専門教育科目	27
5) 心理学科専門教育科目	29
6) こども教育学科専門教育科目	31
7) 福祉生活デザイン学科専門教育科目	33
8) 生活福祉文化学部専門教育科目	35
9) 心理学部専門教育科目	37
10) 資格科目等	39
4. 「学生による授業評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題	41
資料 2017（平成 29）年度 学生による授業評価アンケート 調査用紙	42
II 2017（平成 29）年度「大学院生による教育評価アンケート」実施報告	46
1. 実施目的	46
2. 実施方法	46
3. 集計結果	48
(1) 【全研究科】	49
(2) 【研究科別】	50
1) 人間文化研究科	51
2) 心理学研究科	52
(3) 【専攻別】	53
1) 人間文化研究科 応用英語専攻	54
2) 人間文化研究科 生活福祉文化専攻	55
3) 心理学研究科 発達・学校心理学専攻	56
4) 心理学研究科 臨床心理学専攻	57
4. 「大学院生による教育評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題	58
資料 2017（平成 29）年度 大学院生による教育評価アンケート 調査用紙	59

Ⅲ	2017（平成 29）年度「FD 研修会」実施報告	60
	1. 実施概要	60
	2. 現状と今後の課題	61
Ⅳ	2017（平成 29）年度「オープンクラス」実施報告	63
	1. 実施概要	63
	2. 現状と今後の課題	63
Ⅴ	2017（平成 29）年度「全学 FD 教員研修会」実施報告	64
	1. 実施概要	64
	2. 現状と今後の課題	64
	FD 委員会構成員	66

I 2017（平成 29）年度「学生による授業評価アンケート」実施報告

1. 実施目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学の教育内容や教育方法等の課題を明確にし、質的な向上を図ることを目的に、2008（平成 20）年度から継続的に実施されている。

2. 実施方法

1) 実施期間

前期は、2017（平成 29）年 7 月 3 日(月)～7 月 27 日(木)、後期は、2017（平成 29）年 12 月 8 日(金)～2018（平成 30）年 1 月 26 日(金)に実施した。なお、実施期間外に開講される集中科目等については、各科目の開講期間に実施した。

2) 対象科目・調査対象者

対象科目：2017（平成 29）年度に学部にて開講されている授業科目
(一部の学外実習科目等を除く)

対象者：対象科目の履修生

3) 実施科目数・回収率

開講所属ごとの実施状況は下のとおりである。

開講所属	対象科目数 (a)	授業評価アンケート実施数 (b)	実施しなかった科目 (a-b)	実施率	授業評価アンケート実施科目回収状況		
					対象科目履修者数	回収数	回収率
共通教育科目	199	199	0	100.0 %	5,269	4,030	76.5 %
現代人間学部共通科目	2	2	0	100.0 %	154	142	92.2 %
英語英文学科専門教育科目	200	188	12	94.0 %	4,260	3,456	81.1 %
人間文化学科専門教育科目	102	99	3	97.1 %	1,843	1,493	81.0 %
心理学科専門教育科目	12	12	0	100.0 %	690	573	83.0 %
こども教育学科専門教育科目	22	22	0	100.0 %	738	648	87.8 %
福祉生活デザイン学科専門教育科目	20	20	0	100.0 %	448	351	78.3 %
生活福祉文化学部専門教育科目	157	155	2	98.7 %	2,960	2,611	88.2 %
心理学部専門教育科目	126	122	4	96.8 %	3,692	2,847	77.1 %
資格科目等	52	50	2	96.2 %	857	719	83.9 %
計	892	869	23	97.4 %	20,911	16,870	80.7 %

4) 調査内容 (学部)

最初に、回答者の属性 (学年・所属学部 (学科)) を尋ね、次に当該科目に関して「授業の状況」「学習の状況」「学習成果 (社会人基礎力)」「授業形態項目」「独自設定項目」について尋ねた。設問数は、選択式 19 問 自由記述 2 問である。

「授業形態項目」は、授業形態 (講義、演習、実習、卒業研究) によって設問が異なる。調査項目の一覧は以下のとおりである。

当該科目に関する調査項目と回答形式

(1) 調査項目

授業の状況

- (1) 授業はシラバス (目標・内容・方法など) に沿った内容であった
- (2) 授業中に使う教材 (テキスト・配布資料など) は適切であった
- (3) 成績評価の仕方が明確に示されていた
- (4) 教員の話し方は、わかりやすかった
- (5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた
- (6) 授業は興味関心の持てる内容であった
- (7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった

学習の状況

- (8) 授業の内容は理解できた
- (9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった
- (10) この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか
〔5(4 時間以上)、4(2~4 時間未満)、3(1~2 時間未満)、2(30 分~1 時間未満)、1(30 分未満)、0 (0 分)〕

学習成果 (4 年間で育てたい力 ND6) 本学では卒業時に身につけておくべき 6 つの力「ND6」を定めています。

- (11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した
- (12) この授業で、「知識・理解力」が向上した
- (13) この授業で、「言語力」が向上した
- (14) この授業で、「思考・解決力」が向上した
- (15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した
- (16) この授業で、「創造・発信力」が向上した

授業形態項目 (講義)

- (17) 教員は、私語の注意など受講マナーを守らせるよう配慮していた
- (18) 黒板の字や視聴覚教材 (パワーポイントなど) は見やすかった
- (19) 授業の進むペースは適切であった

授業形態項目（演習）

- (17) 発表や課題提出に対して教員から適切なフィードバックがあった
- (18) 教員とコミュニケーションがとれた
- (19) 授業中に質問や発言を積極的にした

授業形態項目（実習）

- (17) 実習はやりがいがあった
- (18) 授業中に質問や発言を積極的にした
- (19) TA などのサポートが役に立った

授業形態項目（卒業研究）

- (17) 卒業研究の作成過程・出来栄に満足している
- (18) 指導教員から適切な指導を受けた
- (19) 卒業研究作成の過程で、多くの学びがあった

独自設定項目

- (20) 担当教員が、独自に設定した項目

自由記述

- ・この科目（授業）について「よかった点」を記入してください。
- ・この科目（授業）について「改善すべき点」を記入してください。

(2) 回答形式

評価項目(1)～(20)については、以下の6件法で回答させた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：該当しない

5) 実施手順

授業評価アンケートの調査票は、学事課および研究・情報推進課より各科目の担当教員に配付した。実施期間外の集中科目等は、開講にあわせて研究・情報推進課より配付した。教員は、学生に対しアンケートの主旨等を説明したのち調査票を配付した。回答済みの調査票は、担当教員に指名された学生の代表が回収し、学事課へ提出した。

例外的な取り扱いをした科目は以下のとおり。

- ・ 「ノートルダム学Ⅲ」と「卒業研究」は、「ノートルダム学Ⅲ」の授業（12月13日、12月20日）において、学事課および研究・情報推進課の職員調査票を配付、回収した。

6) 結果の集計

調査票の印刷・封入作業および集計処理は、株式会社教育ソフトウェアに依頼した。

7) 集計結果の教員への通知

科目別集計結果は、前期実施分は2017（平成29）年9月中旬に担当教員に配付した。後期に担当授業のない非常勤講師については郵送にて配付した。

後期実施分は、専任教員には2018（平成30）年3月に配付し、非常勤講師には郵送にて配付した。

8) 集計結果の公表と教育改善への活用

科目ごとのアンケート集計結果（自由記述を除く）は、学内 Web に掲載した。

各科目の集計結果が担当教員返却されたのち、教員は集計データや自由記述項目に記載された内容をもとに授業について点検をし、改善に向けた今後の取り組みについてフィードバックを行った。教員によるフィードバックの内容は、2013（平成25）年度より学内 Web にて公開している。

全学の教育改善への活用については、次のとおり実施した。

- 1) 科目別集計結果、全体集計結果を、FD 委員会委員および学部長、学科主任が閲覧し、各学科での授業の改善の検討材料とした。
- 2) 教務課に授業評価アンケートの結果を伝達し、その内容が教務委員会において報告された。
- 3) 課長会において、授業評価アンケートから抽出した、主に設備面の問題点を関係部局へ伝達し、対策が可能な範囲で配当教室や設備整備の対策がなされた。

「学生による授業評価アンケート」

3.集計結果

(1) 【全学部】

2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(全体)

京都ノートルダム女子大学

■集計区分全体

履修者数	20,911	全科目数	892
回答者数	16,870	実施科目数	869

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
5,339 32.2%	5,589 33.7%	3,665 22.1%	1,939 11.7%	12 0.1%	40 0.2%	16,584

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
4,279 25.9%	2,417 14.6%	2,947 17.8%	3,832 23.2%	713 4.3%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
1,151 7.0%	1,152 7.0%	9 0.1%	35 0.2%	16,535

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答	標準 偏差	
			5	4	3	2	1				0
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	9,368 55.8%	5,848 34.8%	1,283 7.6%	147 0.9%	86 0.5%	68 0.4%	16,800	62	0.718
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	8,688 51.7%	5,618 33.5%	1,723 10.3%	447 2.7%	217 1.3%	99 0.6%	16,792	70	0.862
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	8,308 49.5%	5,673 33.8%	2,051 12.2%	430 2.6%	201 1.2%	113 0.7%	16,776	86	0.866
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	8,669 51.7%	5,322 31.7%	1,865 11.1%	540 3.2%	330 2.0%	46 0.3%	16,772	90	0.925
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	8,330 49.7%	5,442 32.4%	2,107 12.6%	570 3.4%	284 1.7%	42 0.3%	16,775	87	0.921
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	8,133 48.5%	5,459 32.6%	2,155 12.9%	608 3.6%	370 2.2%	37 0.2%	16,762	100	0.955
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	10,022 59.9%	4,963 29.6%	1,297 7.7%	283 1.7%	143 0.9%	36 0.2%	16,744	118	0.780

【学習の状況】

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答	標準 偏差	
			5	4	3	2	1				0
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	7,461 44.6%	6,169 36.9%	2,178 13.0%	569 3.4%	288 1.7%	63 0.4%	16,728	134	0.912
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	10,481 62.7%	3,713 22.2%	1,577 9.4%	434 2.6%	285 1.7%	220 1.3%	16,710	152	0.896
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1,245 7.5%	1,543 9.3%	2,896 17.4%	3,350 20.1%	3,926 23.6%	3,693 22.2%	16,653	209	1.527

【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答	標準 偏差	
			5	4	3	2	1				0
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	5,958 35.5%	5,986 35.7%	3,726 22.2%	511 3.0%	350 2.1%	236 1.4%	16,767	95	0.949
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	7,300 43.6%	6,073 36.3%	2,668 15.9%	340 2.0%	239 1.4%	133 0.8%	16,753	109	0.879
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	5,652 33.8%	5,510 32.9%	4,104 24.5%	651 3.9%	438 2.6%	387 2.3%	16,742	120	0.996
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	6,145 36.7%	6,008 35.9%	3,561 21.3%	472 2.8%	328 2.0%	223 1.3%	16,737	125	0.938
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	5,413 32.3%	5,464 32.7%	4,291 25.6%	692 4.1%	476 2.8%	398 2.4%	16,734	128	1.007
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	5,461 32.7%	5,735 34.3%	4,130 24.7%	623 3.7%	405 2.4%	356 2.1%	16,710	152	0.978

「学生による授業評価アンケート」

3.集計結果

(2) 【授業形態別】

2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(授業形態別)

京都ノートルダム女子大学

■授業形態

授業形態名	履修者数	13,855	全科目数	437
	講義	回答者数	11,055	実施科目数

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
3,362 30.8%	3,870 35.4%	2,521 23.1%	1,156 10.6%	5 0.0%	10 0.1%	10,924

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
2,761 25.4%	1,634 15.0%	1,889 17.4%	2,707 24.9%	448 4.1%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
728 6.7%	695 6.4%	3 0.0%	10 0.1%	10,875

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	5,977	3,973	918	101	66	41	11,076	46	0.733
				54.0%	35.9%	8.3%	0.9%	0.6%	0.4%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.3	5,448	3,809	1,245	342	174	55	11,073	49	0.894
				49.2%	34.4%	11.2%	3.1%	1.6%	0.5%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.3	5,315	3,822	1,424	287	149	66	11,063	59	0.878
				48.0%	34.5%	12.9%	2.6%	1.3%	0.6%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.2	5,448	3,605	1,349	385	246	27	11,060	62	0.949
				49.3%	32.6%	12.2%	3.5%	2.2%	0.2%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.2	5,147	3,681	1,582	413	217	24	11,064	58	0.949
				46.5%	33.3%	14.3%	3.7%	2.0%	0.2%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.2	5,153	3,674	1,481	442	281	24	11,055	67	0.980
				46.6%	33.2%	13.4%	4.0%	2.5%	0.2%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	6,458	3,366	888	207	108	13	11,040	82	0.798
				58.5%	30.5%	8.0%	1.9%	1.0%	0.1%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.1	4,588	4,219	1,558	416	219	39	11,039	83	0.933
				41.6%	38.2%	14.1%	3.8%	2.0%	0.4%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	6,864	2,491	1,070	284	186	129	11,024	98	0.896
				62.3%	22.6%	9.7%	2.6%	1.7%	1.2%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.7	640	844	1,716	2,207	2,768	2,799	10,974	148	1.478
				5.8%	7.7%	15.6%	20.1%	25.2%	25.5%			

【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	3.9	3,565	4,000	2,673	377	275	166	11,056	66	0.967
				32.2%	36.2%	24.2%	3.4%	2.5%	1.5%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.1	4,580	4,034	1,890	255	188	97	11,044	78	0.904
				41.5%	36.5%	17.1%	2.3%	1.7%	0.9%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.8	3,275	3,635	3,014	489	342	280	11,035	87	1.013
				29.7%	32.9%	27.3%	4.4%	3.1%	2.5%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.0	3,739	3,962	2,553	351	265	162	11,032	90	0.963
				33.9%	35.9%	23.1%	3.2%	2.4%	1.5%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.8	3,161	3,636	3,074	509	371	280	11,031	91	1.022
				28.7%	33.0%	27.9%	4.6%	3.4%	2.5%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.9	3,281	3,760	2,935	462	328	256	11,022	100	1.001
				29.8%	34.1%	26.6%	4.2%	3.0%	2.3%			

■授業形態

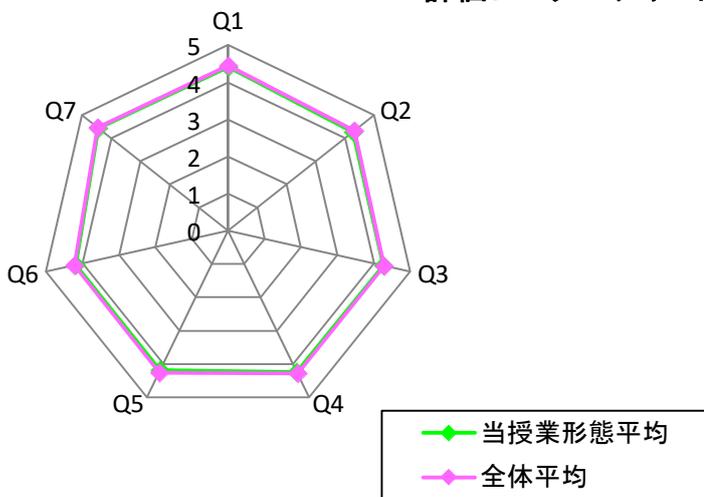
授業形態名
講義

履修者数	13,855	全科目数	437
回答者数	11,055	実施科目数	427

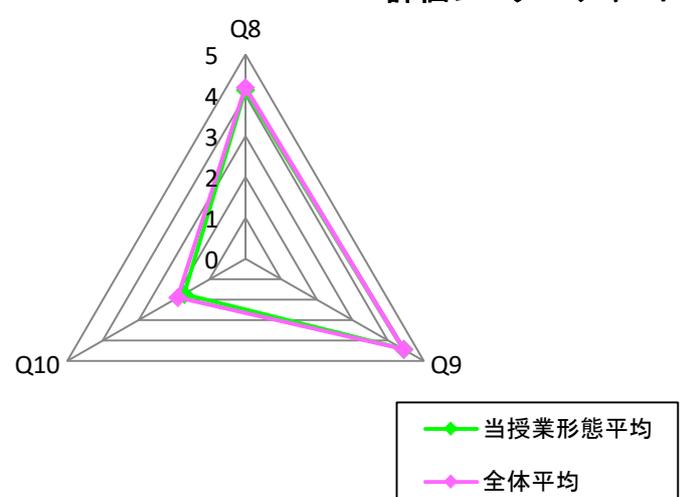
【授業形態項目 (講義)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q17	教員は、私語の注意など受講マナーを守らせるよう配慮していた	4.3	4.3	5,321 48.7%	3,741 34.2%	1,424 13.0%	236 2.2%	160 1.5%	51 0.5%	10,933	189	0.875
Q18	黒板の字や視聴覚教材(パワーポイントなど)は見やすかった	4.2	4.2	5,291 48.4%	3,519 32.2%	1,384 12.7%	435 4.0%	239 2.2%	65 0.6%	10,933	189	0.963
Q19	授業の進むペースは適切であった	4.1	4.3	5,304 48.8%	3,661 33.7%	1,395 12.8%	330 3.0%	151 1.4%	30 0.3%	10,871	251	0.894

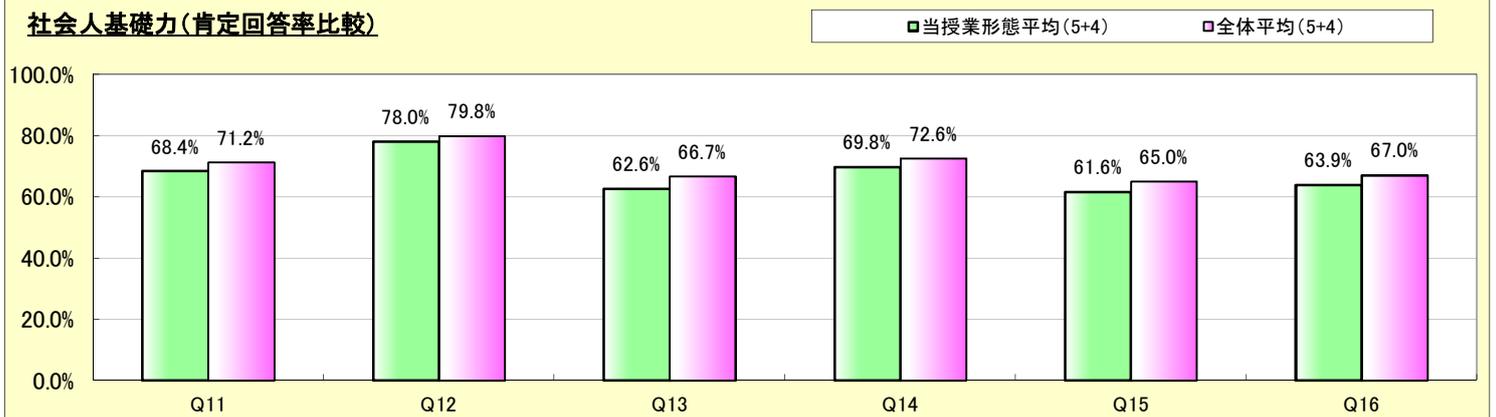
評価レーダーチャート



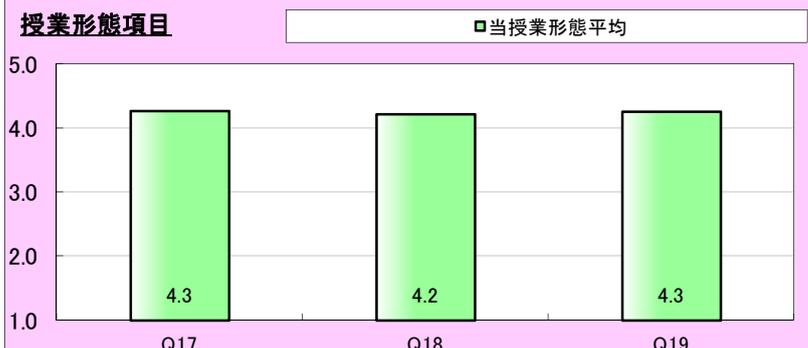
評価レーダーチャート



社会人基礎力(肯定回答率比較)



授業形態項目



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(授業形態別)

京都ノートルダム女子大学

■授業形態

授業形態名	履修者数	5,922	全科目数	419
	回答者数	4,928	実施科目数	408
演習				

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
1,811 38.2%	1,459 30.7%	984 20.7%	456 9.6%	7 0.1%	30 0.6%	4,747

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
1,231 25.9%	711 15.0%	909 19.1%	760 16.0%	264 5.6%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
419 8.8%	423 8.9%	6 0.1%	25 0.5%	4,748

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	2,848 59.2%	1,597 33.2%	292 6.1%	37 0.8%	15 0.3%	18 0.4%	4,807	13	0.675
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.4	2,748 57.2%	1,523 31.7%	382 8.0%	96 2.0%	32 0.7%	23 0.5%	4,804	16	0.779
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.4	2,539 52.9%	1,568 32.7%	507 10.6%	109 2.3%	42 0.9%	33 0.7%	4,798	22	0.827
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.4	2,715 56.6%	1,448 30.2%	421 8.8%	133 2.8%	71 1.5%	8 0.2%	4,796	24	0.869
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.4	2,685 56.0%	1,488 31.0%	423 8.8%	139 2.9%	54 1.1%	7 0.1%	4,796	24	0.850
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.3	2,488 51.9%	1,512 31.5%	556 11.6%	154 3.2%	78 1.6%	6 0.1%	4,794	26	0.909
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.5	3,000 62.6%	1,359 28.4%	331 6.9%	67 1.4%	28 0.6%	6 0.1%	4,791	29	0.737

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.3	2,381 49.8%	1,652 34.6%	531 11.1%	140 2.9%	60 1.3%	13 0.3%	4,777	43	0.870
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	3,001 62.8%	1,048 21.9%	435 9.1%	133 2.8%	86 1.8%	73 1.5%	4,776	44	0.905
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	2.1	423 8.9%	550 11.5%	955 20.0%	1,005 21.1%	1,063 22.3%	775 16.2%	4,771	49	1.520

【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.1	1,967 41.0%	1,687 35.2%	908 18.9%	112 2.3%	62 1.3%	61 1.3%	4,797	23	0.895
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	2,251 46.9%	1,724 35.9%	678 14.1%	70 1.5%	41 0.9%	32 0.7%	4,796	24	0.822
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	4.1	1,975 41.2%	1,585 33.0%	936 19.5%	133 2.8%	80 1.7%	87 1.8%	4,796	24	0.933
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.2	1,963 41.0%	1,744 36.4%	879 18.3%	99 2.1%	51 1.1%	55 1.1%	4,791	29	0.870
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.1	1,853 38.7%	1,551 32.4%	1,053 22.0%	148 3.1%	87 1.8%	100 2.1%	4,792	28	0.954
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.1	1,798 37.6%	1,668 34.9%	1,032 21.6%	135 2.8%	63 1.3%	83 1.7%	4,779	41	0.913

■授業形態

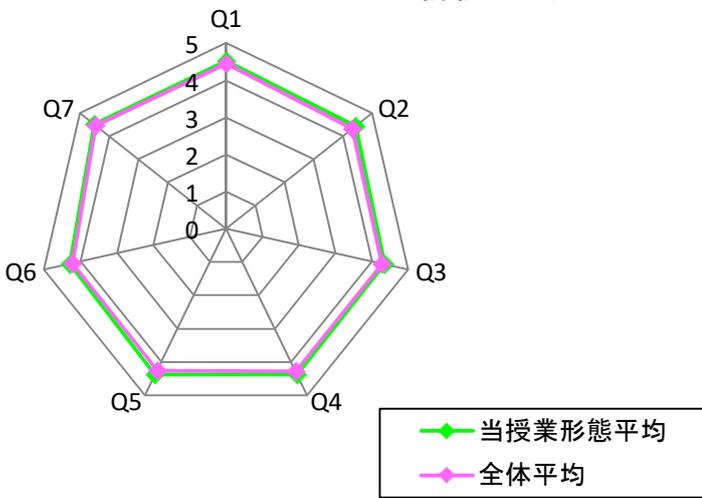
授業形態名
演習

履修者数	5,922	全科目数	419
回答者数	4,928	実施科目数	408

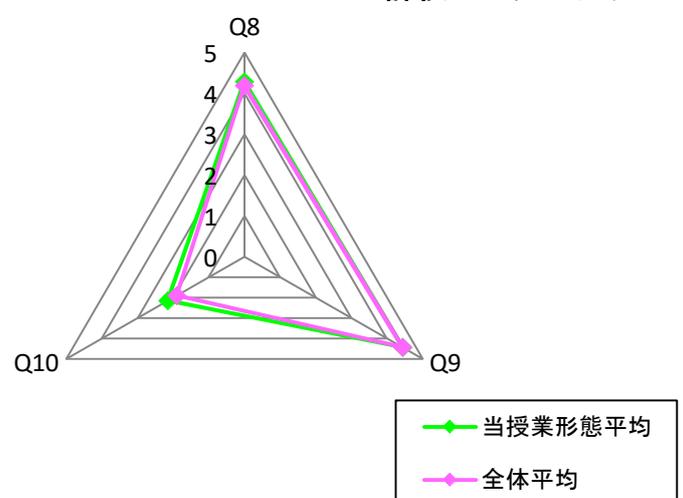
【授業形態項目 (演習)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q17	発表や課題提出に対して教員から適切なフィードバックがあった	4.3	4.3	2,330 49.1%	1,593 33.6%	621 13.1%	123 2.6%	53 1.1%	27 0.6%	4,747	73	0.868
Q18	教員とコミュニケーションがとれた	4.2	4.2	2,334 49.2%	1,500 31.6%	645 13.6%	142 3.0%	98 2.1%	25 0.5%	4,744	76	0.940
Q19	授業中に質問や発言を積極的にした	4.1	3.8	1,609 34.0%	1,395 29.5%	1,056 22.3%	350 7.4%	229 4.8%	89 1.9%	4,728	92	1.135

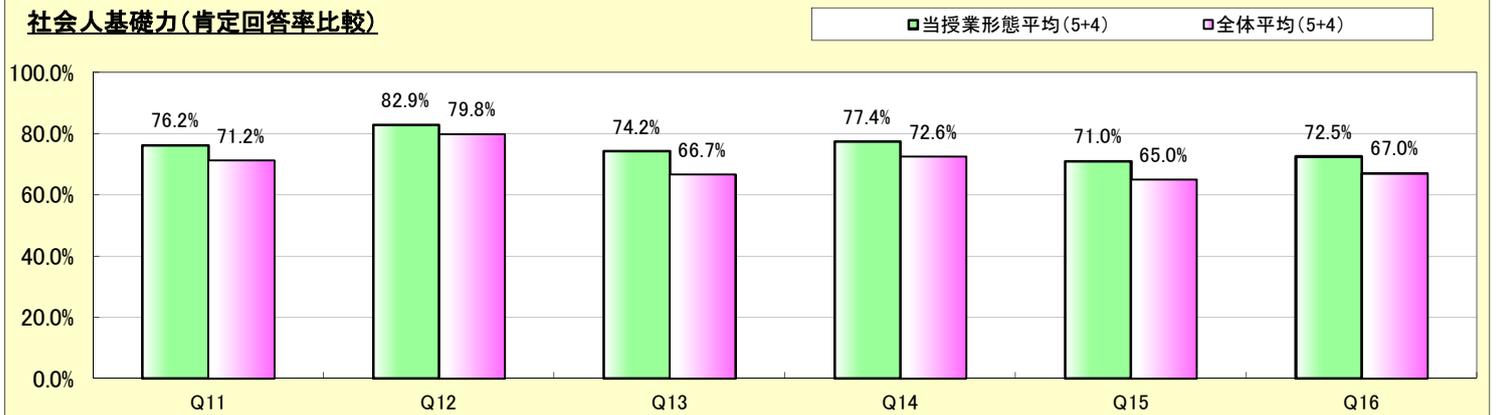
評価レーダーチャート



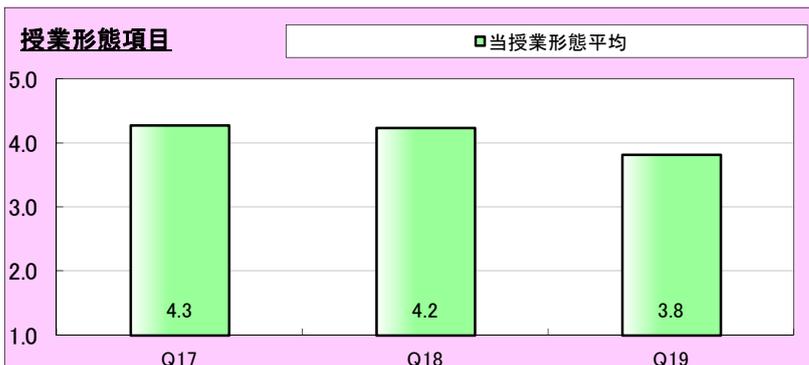
評価レーダーチャート



社会人基礎力(肯定回答率比較)



授業形態項目



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(授業形態別)

京都ノートルダム女子大学

■授業形態

授業形態名	履修者数	815	全科目数	33
	実習	回答者数	638	実施科目数

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
166 26.3%	260 41.2%	160 25.4%	45 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	631

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
193 30.6%	30 4.8%	86 13.7%	282 44.8%	1 0.2%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
4 0.6%	34 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	630

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	398	176	45	8	2	6	635	3	0.712
				62.7%	27.7%	7.1%	1.3%	0.3%	0.9%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.4	353	190	61	7	5	18	634	4	0.780
				55.7%	30.0%	9.6%	1.1%	0.8%	2.8%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.3	321	194	82	22	5	11	635	3	0.881
				50.6%	30.6%	12.9%	3.5%	0.8%	1.7%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.4	360	172	67	19	8	9	635	3	0.885
				56.7%	27.1%	10.6%	3.0%	1.3%	1.4%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.4	357	175	69	17	6	9	633	5	0.857
				56.4%	27.6%	10.9%	2.7%	0.9%	1.4%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.4	355	174	85	9	4	6	633	5	0.819
				56.1%	27.5%	13.4%	1.4%	0.6%	0.9%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.5	402	153	54	6	4	13	632	6	0.748
				63.6%	24.2%	8.5%	0.9%	0.6%	2.1%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.4	349	202	57	12	4	8	632	6	0.785
				55.2%	32.0%	9.0%	1.9%	0.6%	1.3%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.6	450	97	49	12	6	16	630	8	0.798
				71.4%	15.4%	7.8%	1.9%	1.0%	2.5%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	2.5	85	80	168	115	82	99	629	9	1.587
				13.5%	12.7%	26.7%	18.3%	13.0%	15.7%			

【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.2	294	195	110	14	11	9	633	5	0.926
				46.4%	30.8%	17.4%	2.2%	1.7%	1.4%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	325	217	68	10	8	4	632	6	0.830
				51.4%	34.3%	10.8%	1.6%	1.3%	0.6%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	4.1	279	191	107	21	13	20	631	7	0.969
				44.2%	30.3%	17.0%	3.3%	2.1%	3.2%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.2	307	197	96	17	10	6	633	5	0.916
				48.5%	31.1%	15.2%	2.7%	1.6%	0.9%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.2	289	185	105	22	13	17	631	7	0.974
				45.8%	29.3%	16.6%	3.5%	2.1%	2.7%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.1	254	216	115	16	12	17	630	8	0.932
				40.3%	34.3%	18.3%	2.5%	1.9%	2.7%			

■授業形態

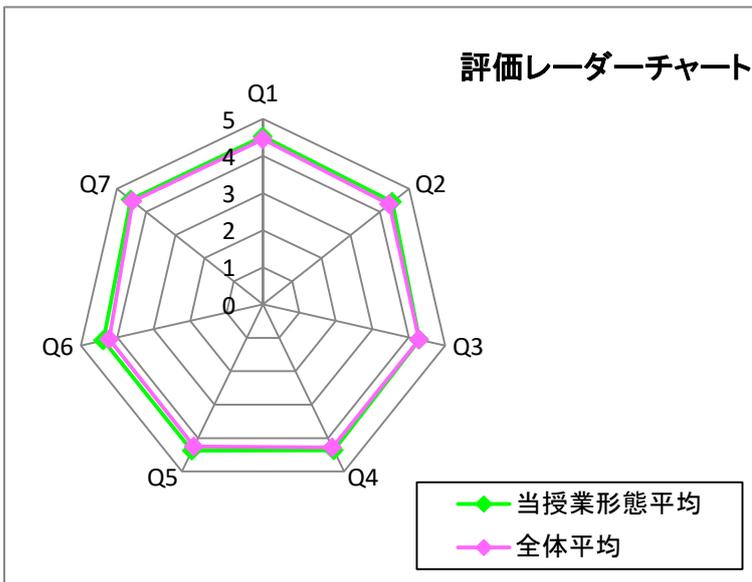
授業形態名
実習

履修者数	815	全科目数	33
回答者数	638	実施科目数	29

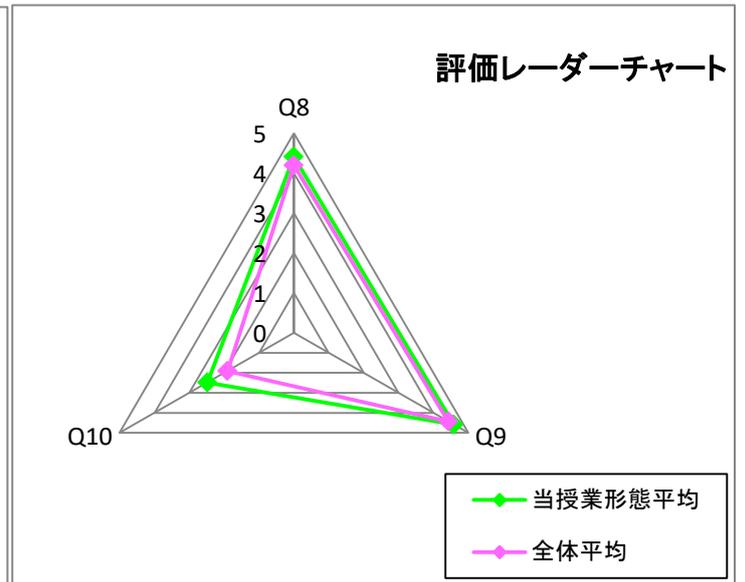
【授業形態項目 (実習)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q17	実習はやりがいがあった	4.3	4.4	357 59.1%	144 23.8%	64 10.6%	9 1.5%	5 0.8%	25 4.1%	604	34	0.816
Q18	授業中に質問や発言を積極的にした	4.2	3.8	196 32.4%	156 25.8%	145 24.0%	44 7.3%	26 4.3%	38 6.3%	605	33	1.133
Q19	TAなどのサポートが役に立った	4.1	3.9	182 30.5%	141 23.6%	145 24.3%	24 4.0%	22 3.7%	83 13.9%	597	41	1.089

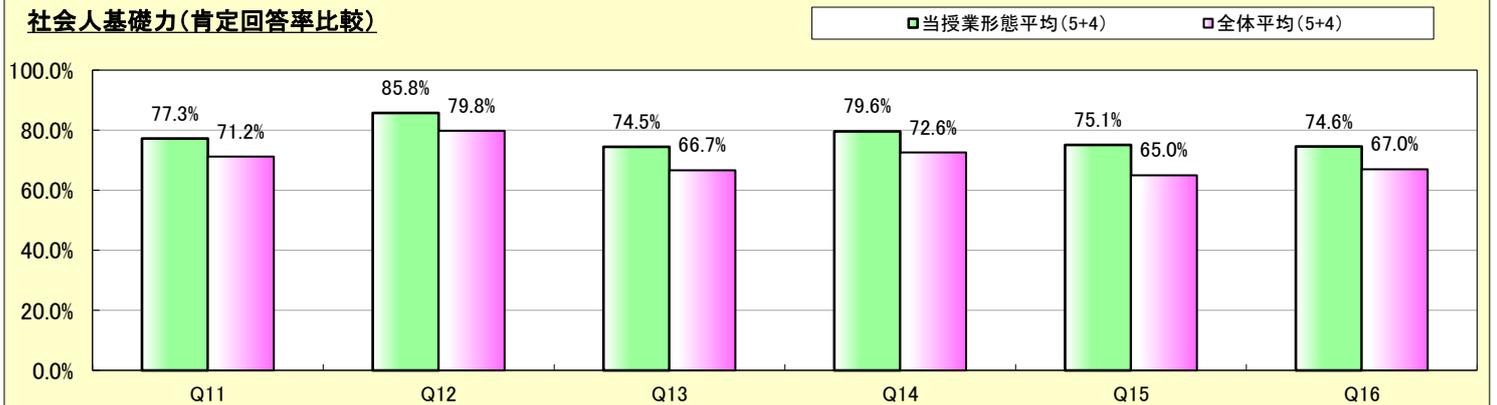
評価レーダーチャート



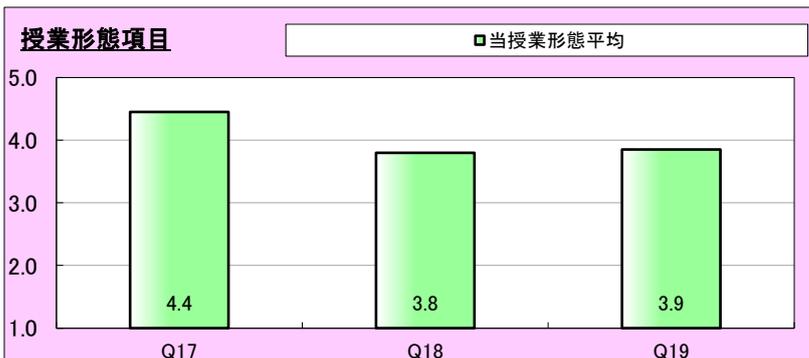
評価レーダーチャート



社会人基礎力(肯定回答率比較)



授業形態項目



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(授業形態別)

京都ノートルダム女子大学

■授業形態

授業形態名	履修者数	319	全科目数	4
	卒業研究	回答者数	282	実施科目数

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	282 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	282

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
94 33.3%	42 14.9%	63 22.3%	83 29.4%	0 0.0%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	282

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	145	102	28	1	3	3	282	0	0.766
				51.4%	36.2%	9.9%	0.4%	1.1%	1.1%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.3	139	96	35	2	6	3	281	1	0.873
				49.5%	34.2%	12.5%	0.7%	2.1%	1.1%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.2	133	89	38	12	5	3	280	2	0.955
				47.5%	31.8%	13.6%	4.3%	1.8%	1.1%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.3	146	97	28	3	5	2	281	1	0.841
				52.0%	34.5%	10.0%	1.1%	1.8%	0.7%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.3	141	98	33	1	7	2	282	0	0.877
				50.0%	34.8%	11.7%	0.4%	2.5%	0.7%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.3	137	99	33	3	7	1	280	2	0.896
				48.9%	35.4%	11.8%	1.1%	2.5%	0.4%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	162	85	24	3	3	4	281	1	0.784
				57.7%	30.2%	8.5%	1.1%	1.1%	1.4%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.3	143	96	32	1	5	3	280	2	0.833
				51.1%	34.3%	11.4%	0.4%	1.8%	1.1%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	166	77	23	5	7	2	280	2	0.903
				59.3%	27.5%	8.2%	1.8%	2.5%	0.7%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	3.6	97	69	57	23	13	20	279	3	1.499
				34.8%	24.7%	20.4%	8.2%	4.7%	7.2%			

【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.3	132	104	35	8	2	0	281	1	0.837
				47.0%	37.0%	12.5%	2.8%	0.7%	0.0%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	144	98	32	5	2	0	281	1	0.803
				51.2%	34.9%	11.4%	1.8%	0.7%	0.0%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	4.2	123	99	47	8	3	0	280	2	0.886
				43.9%	35.4%	16.8%	2.9%	1.1%	0.0%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.3	136	105	33	5	2	0	281	1	0.801
				48.4%	37.4%	11.7%	1.8%	0.7%	0.0%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.0	110	92	59	13	5	1	280	2	0.976
				39.3%	32.9%	21.1%	4.6%	1.8%	0.4%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.2	128	91	48	10	2	0	279	3	0.895
				45.9%	32.6%	17.2%	3.6%	0.7%	0.0%			

■授業形態

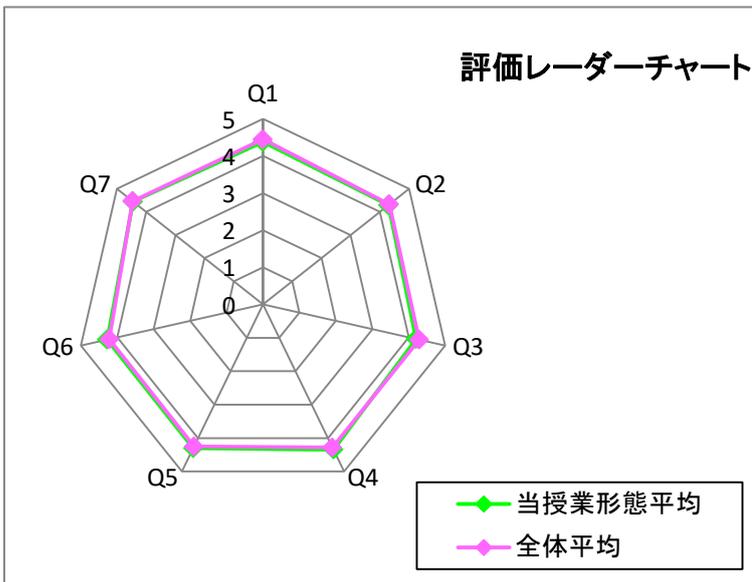
授業形態名
卒業研究

履修者数	319	全科目数	4
回答者数	282	実施科目数	4

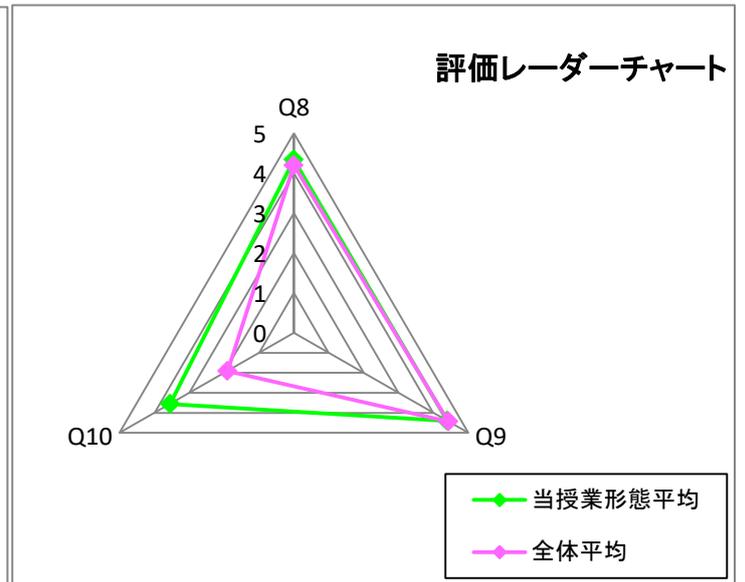
【授業形態項目 (卒業研究)】

No.	設問文	全体平均点	当授業形態平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q17	卒業研究の作成過程・出来栄に満足している	4.3	4.0	95 33.9%	106 37.9%	60 21.4%	14 5.0%	5 1.8%	0 0.0%	280	2	0.956
Q18	指導教員から適切な指導を受けた	4.2	4.3	164 58.8%	70 25.1%	20 7.2%	14 5.0%	8 2.9%	3 1.1%	279	3	1.010
Q19	卒業研究作成の過程で、多くの学びがあった	4.1	4.4	161 58.3%	78 28.3%	23 8.3%	8 2.9%	5 1.8%	1 0.4%	276	6	0.893

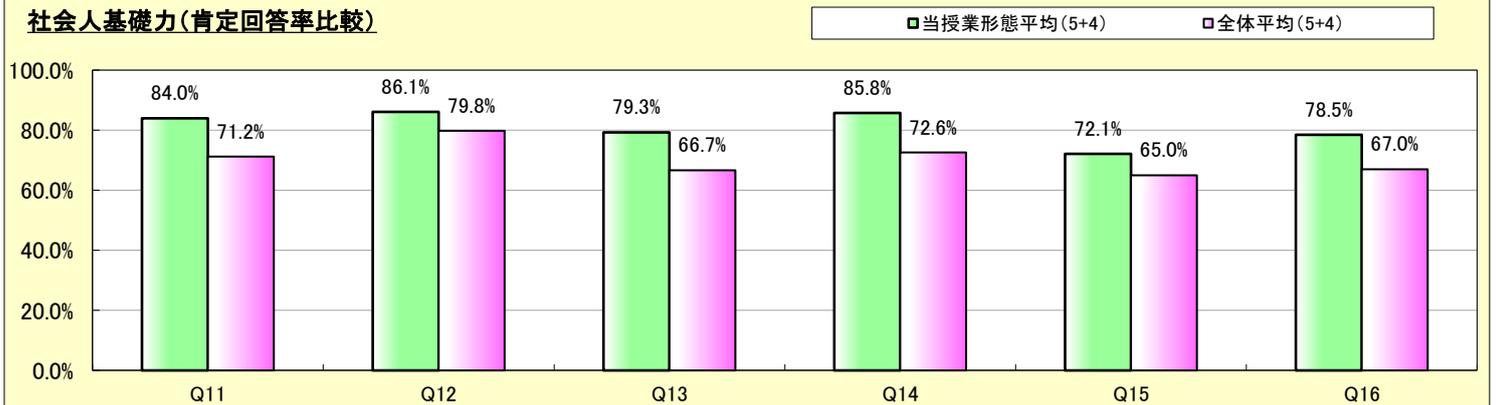
評価レーダーチャート



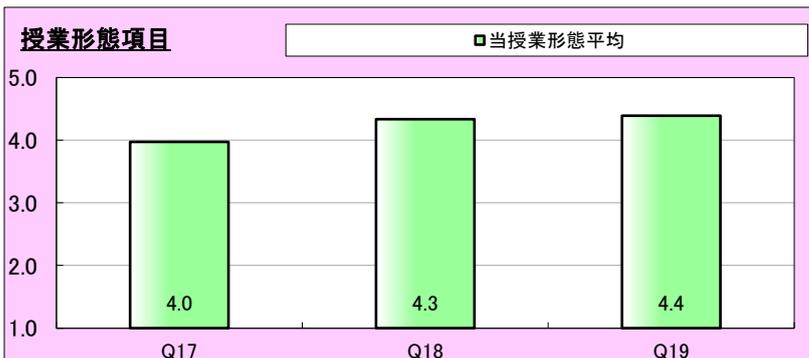
評価レーダーチャート



社会人基礎力(肯定回答率比較)



授業形態項目



「学生による授業評価アンケート」

3.集計結果

(3) 【開講所属別】

2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名	履修者数	5,269	全科目数	199
	回答者数	4,030	実施科目数	199
共通教育科目				

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
2,213 55.8%	812 20.5%	394 9.9%	509 12.8%	5 0.1%	32 0.8%	3,965

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
759 19.2%	727 18.4%	305 7.7%	666 16.8%	399 10.1%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
579 14.6%	494 12.5%	3 0.1%	25 0.6%	3,957

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5:4時間以上 4:2~4時間未満 3:1~2時間未満 2:30分~1時間未満 1:30時間未満 0:0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	2,124 52.9%	1,432 35.7%	361 9.0%	45 1.1%	28 0.7%	24 0.6%	4,014	8	0.757
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.2	1,981 49.4%	1,280 31.9%	493 12.3%	151 3.8%	73 1.8%	32 0.8%	4,010	12	0.938
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.2	1,796 44.9%	1,356 33.9%	598 14.9%	147 3.7%	59 1.5%	48 1.2%	4,004	18	0.924
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.1	1,804 45.1%	1,299 32.5%	554 13.8%	216 5.4%	118 2.9%	12 0.3%	4,003	19	1.030
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.1	1,712 42.7%	1,333 33.3%	603 15.1%	243 6.1%	105 2.6%	10 0.2%	4,006	16	1.026
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.0	1,596 39.9%	1,274 31.9%	647 16.2%	279 7.0%	188 4.7%	14 0.4%	3,998	24	1.125
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	2,320 57.9%	1,212 30.3%	340 8.5%	85 2.1%	39 1.0%	8 0.2%	4,004	18	0.812

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.0	1,527 38.2%	1,444 36.1%	653 16.3%	237 5.9%	119 3.0%	22 0.5%	4,002	20	1.027
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	2,482 62.1%	846 21.2%	386 9.7%	128 3.2%	83 2.1%	71 1.8%	3,996	26	0.942
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.7	212 5.3%	306 7.7%	613 15.4%	845 21.2%	960 24.0%	1,057 26.5%	3,993	29	1.465

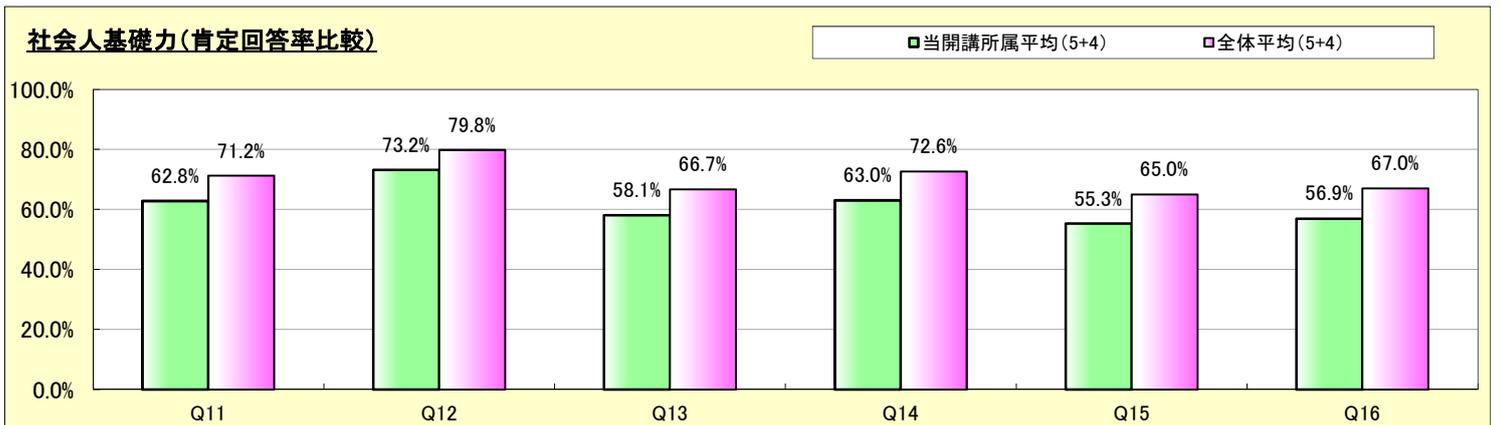
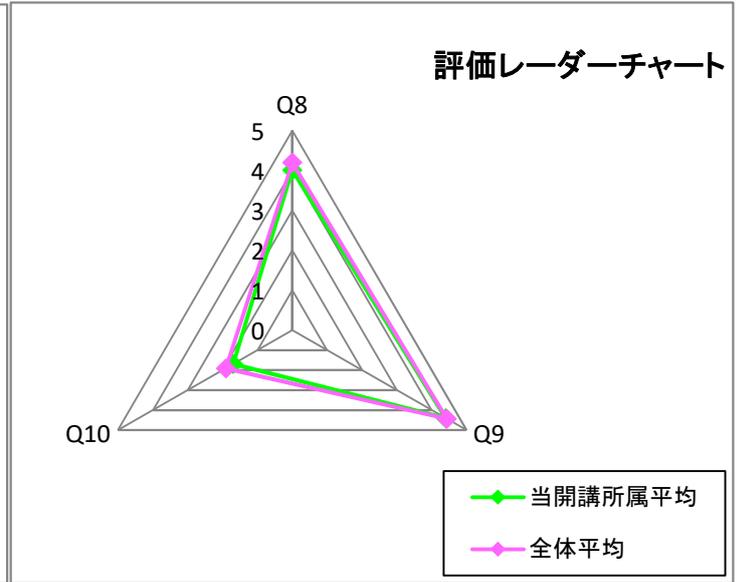
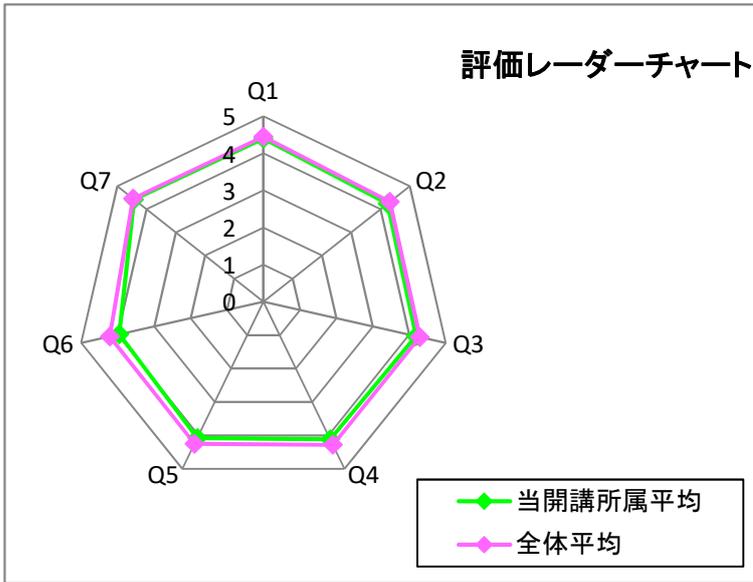
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	3.8	1,144 28.6%	1,371 34.2%	1,063 26.5%	206 5.1%	145 3.6%	76 1.9%	4,005	17	1.032
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.0	1,529 38.2%	1,403 35.0%	791 19.7%	140 3.5%	101 2.5%	43 1.1%	4,007	15	0.977
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.7	1,163 29.0%	1,162 29.0%	1,112 27.8%	270 6.7%	179 4.5%	118 2.9%	4,004	18	1.099
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	3.8	1,162 29.1%	1,358 34.0%	1,075 26.9%	194 4.9%	132 3.3%	79 2.0%	4,000	22	1.020
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.7	1,030 25.8%	1,180 29.5%	1,220 30.5%	259 6.5%	178 4.5%	131 3.3%	3,998	24	1.077
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.7	1,010 25.3%	1,261 31.6%	1,215 30.4%	238 6.0%	155 3.9%	113 2.8%	3,992	30	1.045

■開講所属

開講所属名
共通教育科目

履修者数	5,269	全科目数	199
回答者数	4,030	実施科目数	199



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名	履修者数	154	全科目数	2
	回答者数	142	実施科目数	2
現代人間学部共通科目				

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
139 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	139

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	36 25.7%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
51 36.4%	52 37.1%	0 0.0%	0 0.0%	140

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5:4時間以上 4:2~4時間未満 3:1~2時間未満 2:30分~1時間未満 1:30時間未満 0:0分

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.3	63 44.4%	62 43.7%	14 9.9%	2 1.4%	0 0.0%	1 0.7%	142	0	0.708
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.1	56 39.7%	57 40.4%	19 13.5%	7 5.0%	1 0.7%	1 0.7%	141	1	0.883
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.1	61 43.3%	46 32.6%	25 17.7%	5 3.5%	4 2.8%	0 0.0%	141	1	0.999
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.1	58 40.8%	53 37.3%	23 16.2%	5 3.5%	3 2.1%	0 0.0%	142	0	0.943
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.0	51 35.9%	49 34.5%	32 22.5%	8 5.6%	2 1.4%	0 0.0%	142	0	0.968
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.0	50 35.2%	54 38.0%	32 22.5%	3 2.1%	3 2.1%	0 0.0%	142	0	0.923
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	74 52.1%	57 40.1%	9 6.3%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	142	0	0.676

【学習の状況】

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.1	46 32.4%	69 48.6%	22 15.5%	5 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	142	0	0.781
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.6	100 70.4%	22 15.5%	11 7.7%	2 1.4%	1 0.7%	6 4.2%	142	0	0.760
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.5	8 5.6%	13 9.2%	14 9.9%	20 14.1%	34 23.9%	53 37.3%	142	0	1.555

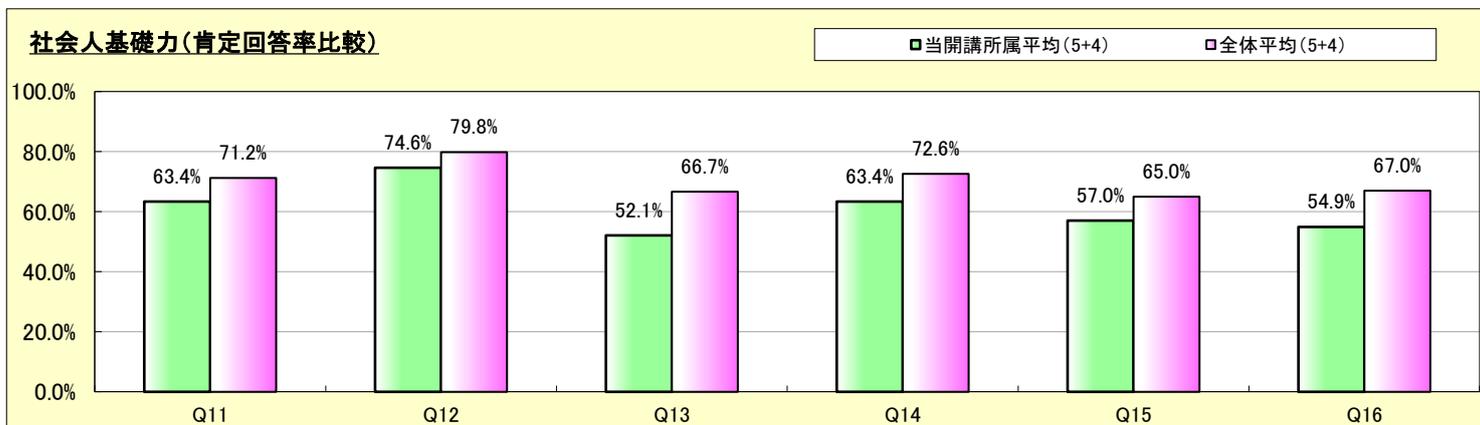
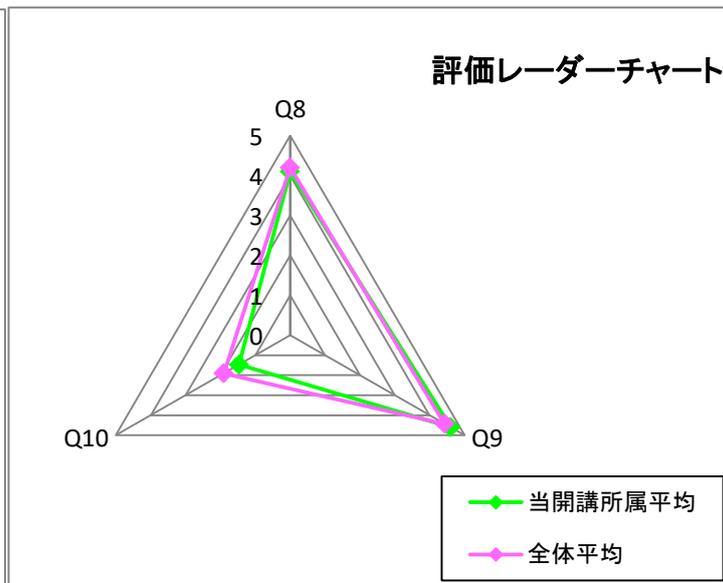
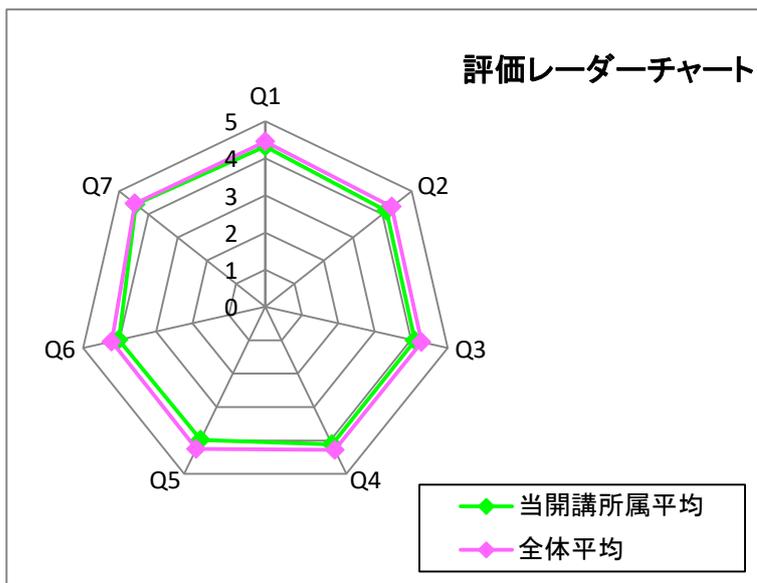
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	3.8	35 24.6%	55 38.7%	41 28.9%	5 3.5%	4 2.8%	2 1.4%	142	0	0.950
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.0	43 30.3%	63 44.4%	27 19.0%	3 2.1%	4 2.8%	2 1.4%	142	0	0.918
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.5	19 13.4%	55 38.7%	51 35.9%	9 6.3%	5 3.5%	3 2.1%	142	0	0.931
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	3.8	36 25.4%	54 38.0%	42 29.6%	3 2.1%	5 3.5%	2 1.4%	142	0	0.963
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.7	29 20.4%	52 36.6%	52 36.6%	3 2.1%	4 2.8%	2 1.4%	142	0	0.914
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.7	27 19.0%	51 35.9%	50 35.2%	5 3.5%	5 3.5%	4 2.8%	142	0	0.953

■開講所属

開講所属名
現代人間学部共通科目

履修者数	154	全科目数	2
回答者数	142	実施科目数	2



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名	履修者数	4,260	全科目数	200
	英語英文学科専門教育科目	回答者数	3,456	実施科目数

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
1,394 41.0%	959 28.2%	696 20.5%	345 10.2%	2 0.1%	0 0.0%	3,396

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
3,301 97.4%	64 1.9%	10 0.3%	10 0.3%	0 0.0%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	3,388

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	2,216 64.4%	883 25.7%	269 7.8%	29 0.8%	31 0.9%	12 0.3%	3,440	16	0.752
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.5	2,072 60.3%	932 27.1%	308 9.0%	59 1.7%	37 1.1%	27 0.8%	3,435	21	0.814
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.4	2,033 59.3%	926 27.0%	367 10.7%	54 1.6%	37 1.1%	14 0.4%	3,431	25	0.827
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.4	2,105 61.4%	864 25.2%	336 9.8%	60 1.8%	49 1.4%	14 0.4%	3,428	28	0.849
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.4	2,084 60.7%	868 25.3%	363 10.6%	59 1.7%	43 1.3%	15 0.4%	3,432	24	0.844
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.4	1,992 58.0%	906 26.4%	381 11.1%	83 2.4%	60 1.7%	10 0.3%	3,432	24	0.901
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.5	2,220 64.9%	838 24.5%	271 7.9%	50 1.5%	27 0.8%	17 0.5%	3,423	33	0.769

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.4	1,942 56.7%	996 29.1%	359 10.5%	63 1.8%	48 1.4%	18 0.5%	3,426	30	0.853
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.5	2,185 63.8%	748 21.8%	300 8.8%	68 2.0%	69 2.0%	56 1.6%	3,426	30	0.891
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	2.4	426 12.5%	414 12.2%	740 21.7%	722 21.2%	678 19.9%	427 12.5%	3,407	49	1.543

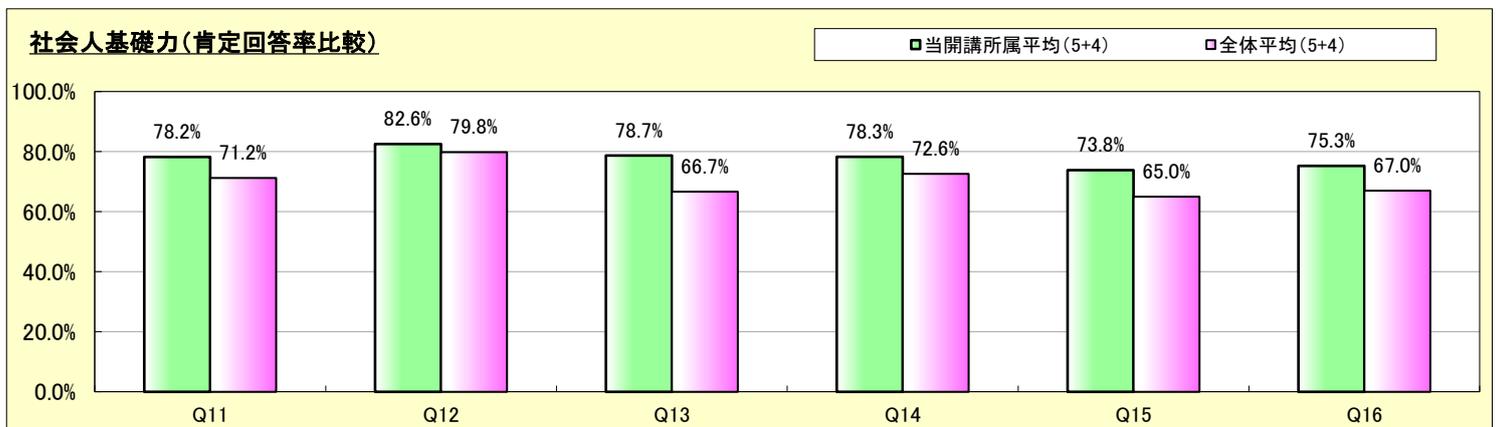
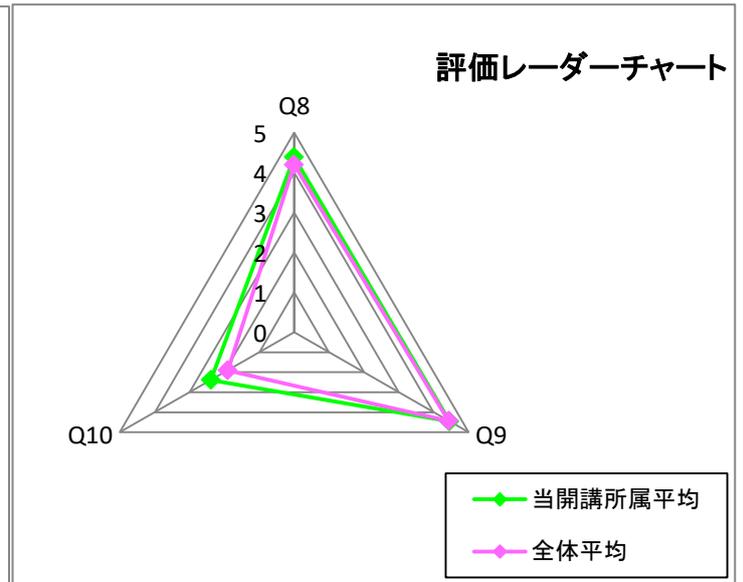
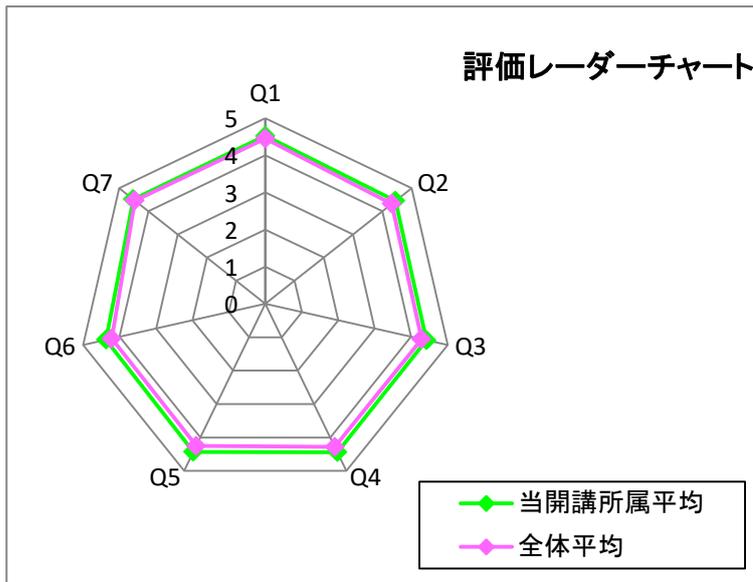
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.2	1,581 46.0%	1,108 32.2%	591 17.2%	82 2.4%	45 1.3%	30 0.9%	3,437	19	0.901
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	1,770 51.6%	1,064 31.0%	496 14.4%	50 1.5%	33 1.0%	20 0.6%	3,433	23	0.843
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	4.2	1,681 48.9%	1,026 29.8%	596 17.3%	65 1.9%	41 1.2%	30 0.9%	3,439	17	0.890
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.2	1,598 46.5%	1,092 31.8%	606 17.6%	72 2.1%	39 1.1%	29 0.8%	3,436	20	0.888
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.1	1,493 43.5%	1,042 30.4%	688 20.0%	110 3.2%	59 1.7%	41 1.2%	3,433	23	0.956
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.1	1,488 43.4%	1,095 31.9%	666 19.4%	92 2.7%	50 1.5%	41 1.2%	3,432	24	0.925

■開講所属

開講所属名
英語英文学科専門教育科目

履修者数	4,260	全科目数	200
回答者数	3,456	実施科目数	188



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名		履修者数	1,843	全科目数	102
人間文化学科専門教育科目		回答者数	1,493	実施科目数	99

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
174 11.8%	638 43.4%	407 27.7%	245 16.7%	0 0.0%	5 0.3%	1,469

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
58 4.0%	1,323 90.4%	21 1.4%	57 3.9%	0 0.0%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.3%	1,464

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	902	486	86	8	4	1	1,487	6	0.655
				60.7%	32.7%	5.8%	0.5%	0.3%	0.1%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.4	843	454	147	24	12	8	1,488	5	0.797
				56.7%	30.5%	9.9%	1.6%	0.8%	0.5%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.4	833	474	137	24	7	12	1,487	6	0.765
				56.0%	31.9%	9.2%	1.6%	0.5%	0.8%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.4	891	425	127	28	14	3	1,488	5	0.803
				59.9%	28.6%	8.5%	1.9%	0.9%	0.2%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.4	850	439	160	23	12	3	1,487	6	0.805
				57.2%	29.5%	10.8%	1.5%	0.8%	0.2%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.4	800	474	165	32	10	4	1,485	8	0.816
				53.9%	31.9%	11.1%	2.2%	0.7%	0.3%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.5	926	406	94	37	16	1	1,480	13	0.810
				62.6%	27.4%	6.4%	2.5%	1.1%	0.1%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.3	736	517	178	32	12	4	1,479	14	0.827
				49.8%	35.0%	12.0%	2.2%	0.8%	0.3%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.3	840	366	188	43	23	18	1,478	15	0.921
				56.8%	24.8%	12.7%	2.9%	1.6%	1.2%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.9	125	103	258	290	361	337	1,474	19	1.536
				8.5%	7.0%	17.5%	19.7%	24.5%	22.9%			

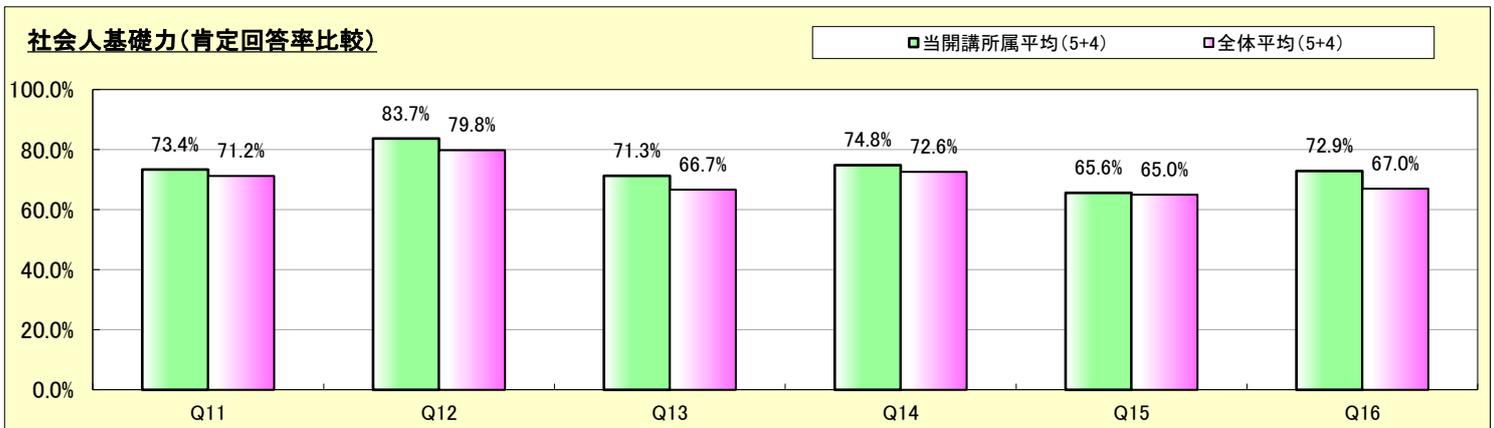
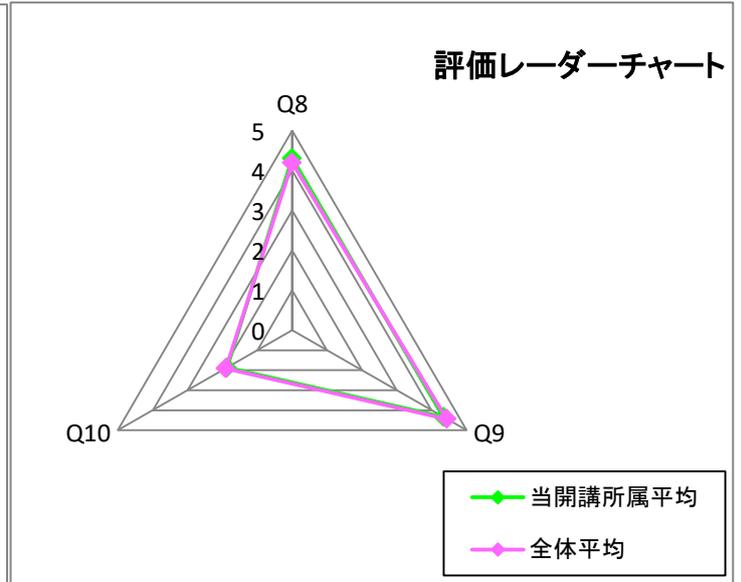
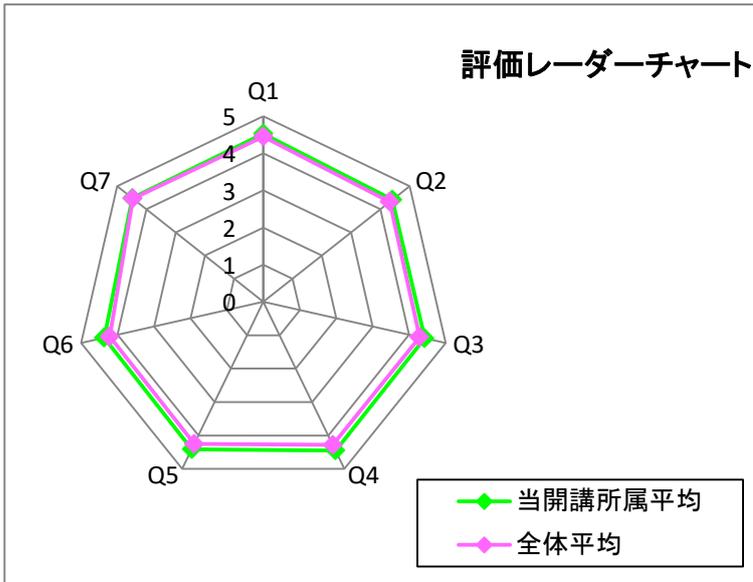
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.1	587	505	300	47	33	16	1,488	5	0.963
				39.4%	33.9%	20.2%	3.2%	2.2%	1.1%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	731	513	196	25	18	3	1,486	7	0.847
				49.2%	34.5%	13.2%	1.7%	1.2%	0.2%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	4.0	585	473	309	47	40	30	1,484	9	0.995
				39.4%	31.9%	20.8%	3.2%	2.7%	2.0%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.1	602	510	286	39	31	18	1,486	7	0.944
				40.5%	34.3%	19.2%	2.6%	2.1%	1.2%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.9	513	460	373	58	43	36	1,483	10	1.017
				34.6%	31.0%	25.2%	3.9%	2.9%	2.4%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.1	584	497	306	41	29	26	1,483	10	0.947
				39.4%	33.5%	20.6%	2.8%	2.0%	1.8%			

■開講所属

開講所属名
人間文化学科専門教育科目

履修者数	1,843	全科目数	102
回答者数	1,493	実施科目数	99



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属	開講所属名		履修者数	690	全科目数	12
	心理学科専門教育科目		回答者数	573	実施科目数	12

■学年	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
	455 80.4%	78 13.8%	26 4.6%	7 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	566

■所属学部・学科	人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	116 20.5%	0 0.0%
	現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
	450 79.4%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	567

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】 ※Q10 5:4時間以上 4:2~4時間未満 3:1~2時間未満 2:30分~1時間未満 1:30時間未満 0:0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	336	211	22	1	1	1	572	1	0.597
				58.7%	36.9%	3.8%	0.2%	0.2%	0.2%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.5	317	218	27	9	1	0	572	1	0.677
				55.4%	38.1%	4.7%	1.6%	0.2%	0.0%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.4	293	227	45	4	1	2	572	1	0.681
				51.2%	39.7%	7.9%	0.7%	0.2%	0.3%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.4	313	214	29	12	5	0	573	0	0.759
				54.6%	37.3%	5.1%	2.1%	0.9%	0.0%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.3	271	227	60	12	2	0	572	1	0.771
				47.4%	39.7%	10.5%	2.1%	0.3%	0.0%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.3	267	229	61	10	3	0	570	3	0.772
				46.8%	40.2%	10.7%	1.8%	0.5%	0.0%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	315	193	42	14	5	0	569	4	0.801
				55.4%	33.9%	7.4%	2.5%	0.9%	0.0%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.3	243	267	48	10	3	0	571	2	0.737
				42.6%	46.8%	8.4%	1.8%	0.5%	0.0%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.5	371	119	51	13	10	4	568	5	0.884
				65.3%	21.0%	9.0%	2.3%	1.8%	0.7%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.4	14	27	76	109	163	180	569	4	1.310
				2.5%	4.7%	13.4%	19.2%	28.6%	31.6%			

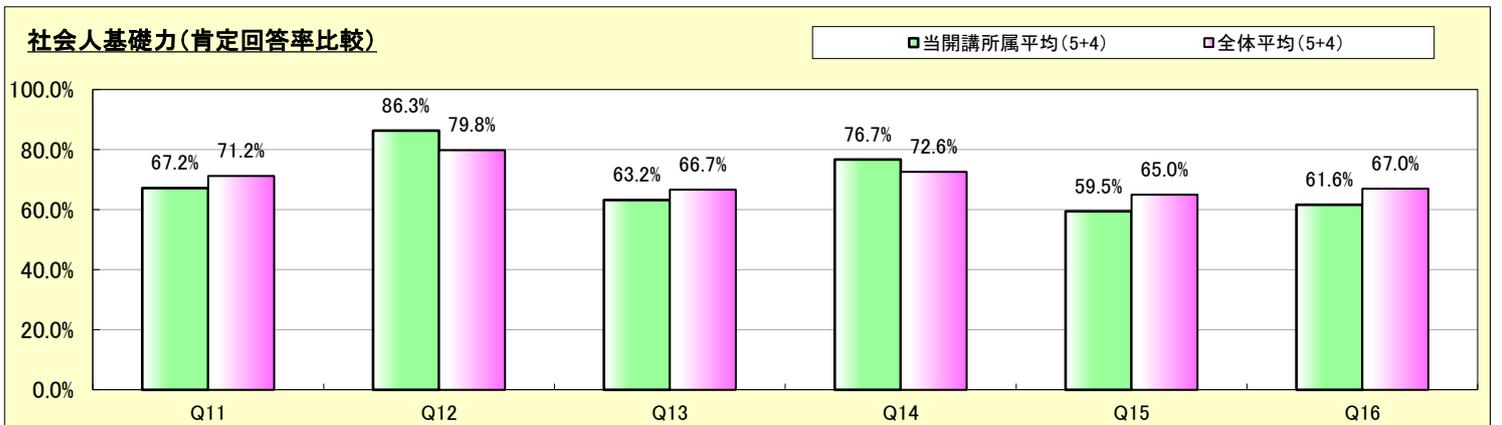
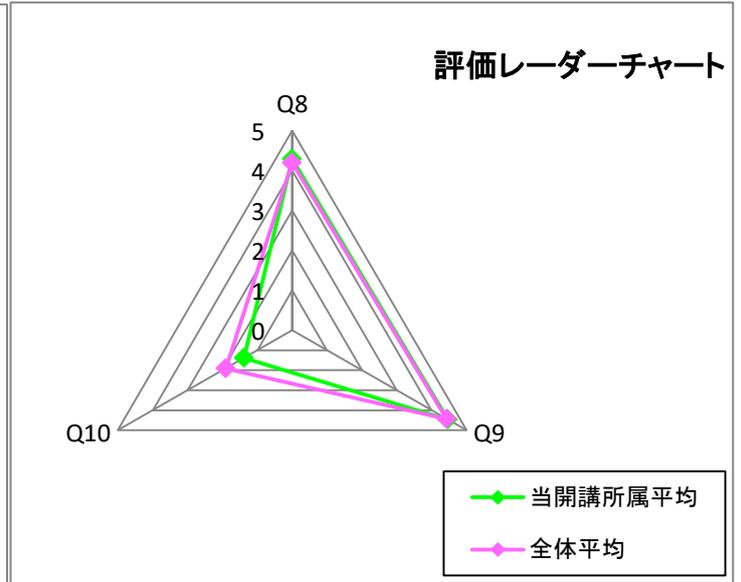
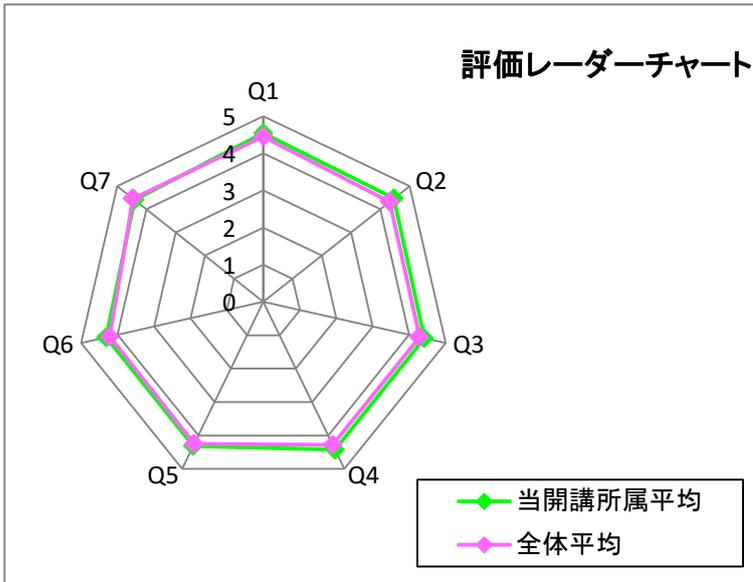
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	3.9	153	230	154	15	12	6	570	3	0.910
				26.8%	40.4%	27.0%	2.6%	2.1%	1.1%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	256	237	64	6	5	3	571	2	0.775
				44.8%	41.5%	11.2%	1.1%	0.9%	0.5%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.8	159	202	152	22	17	19	571	2	0.987
				27.8%	35.4%	26.6%	3.9%	3.0%	3.3%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.1	208	227	105	13	9	5	567	6	0.886
				36.7%	40.0%	18.5%	2.3%	1.6%	0.9%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.7	137	202	162	32	20	17	570	3	1.012
				24.0%	35.4%	28.4%	5.6%	3.5%	3.0%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.8	134	218	161	23	18	17	571	2	0.969
				23.5%	38.2%	28.2%	4.0%	3.2%	3.0%			

■開講所属

開講所属名
心理学科専門教育科目

履修者数	690	全科目数	12
回答者数	573	実施科目数	12



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名 こども教育学科専門教育科目	履修者数	738	全科目数	22
	回答者数	648	実施科目数	22

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
582 91.2%	40 6.3%	11 1.7%	5 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	638

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
0 0.0%	0 0.0%	4 0.6%	53 8.3%	0 0.0%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
2 0.3%	582 90.8%	0 0.0%	0 0.0%	641

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	340	204	73	17	1	13	648	0	0.800
				52.5%	31.5%	11.3%	2.6%	0.2%	2.0%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.2	313	210	79	23	13	10	648	0	0.942
				48.3%	32.4%	12.2%	3.5%	2.0%	1.5%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.1	286	197	98	39	16	11	647	1	1.032
				44.2%	30.4%	15.1%	6.0%	2.5%	1.7%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.1	308	187	87	35	25	5	647	1	1.082
				47.6%	28.9%	13.4%	5.4%	3.9%	0.8%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.1	301	185	100	38	20	2	646	2	1.062
				46.6%	28.6%	15.5%	5.9%	3.1%	0.3%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.3	328	202	82	25	10	1	648	0	0.928
				50.6%	31.2%	12.7%	3.9%	1.5%	0.2%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	380	187	60	9	5	3	644	4	0.783
				59.0%	29.0%	9.3%	1.4%	0.8%	0.5%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.1	278	217	91	39	11	7	643	5	0.983
				43.2%	33.7%	14.2%	6.1%	1.7%	1.1%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.6	443	107	40	14	9	32	645	3	0.830
				68.7%	16.6%	6.2%	2.2%	1.4%	5.0%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.8	45	66	99	119	160	155	644	4	1.542
				7.0%	10.2%	15.4%	18.5%	24.8%	24.1%			

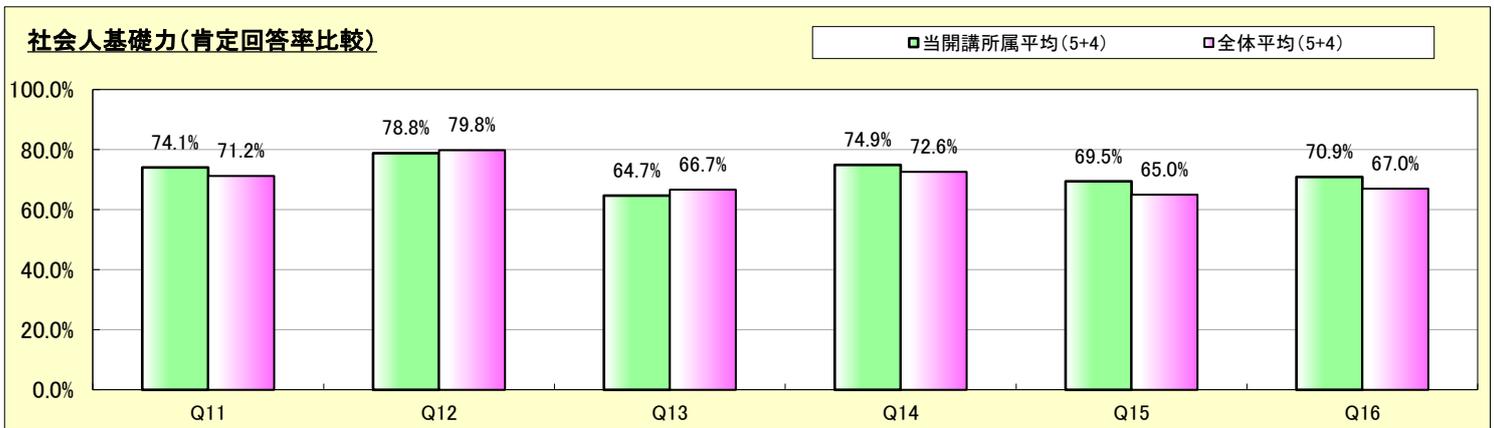
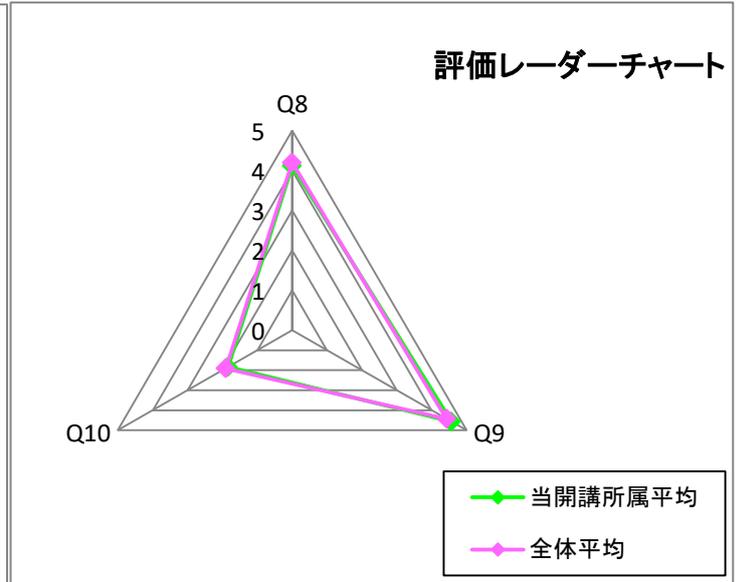
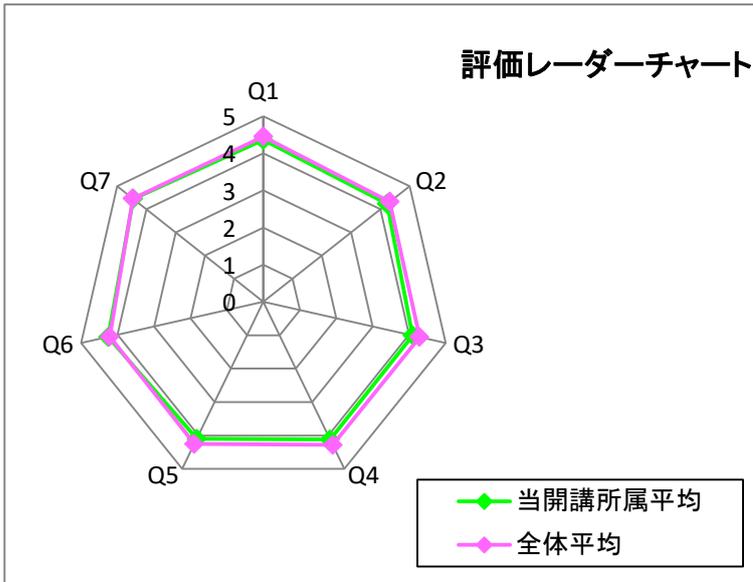
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.1	258	222	125	22	11	10	648	0	0.941
				39.8%	34.3%	19.3%	3.4%	1.7%	1.5%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.2	285	225	99	19	10	9	647	1	0.910
				44.0%	34.8%	15.3%	2.9%	1.5%	1.4%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.9	191	225	172	25	16	14	643	5	0.974
				29.7%	35.0%	26.7%	3.9%	2.5%	2.2%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.1	258	226	126	13	11	12	646	2	0.911
				39.9%	35.0%	19.5%	2.0%	1.7%	1.9%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.0	231	217	147	25	11	14	645	3	0.956
				35.8%	33.6%	22.8%	3.9%	1.7%	2.2%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.0	238	218	137	25	13	12	643	5	0.968
				37.0%	33.9%	21.3%	3.9%	2.0%	1.9%			

■開講所属

開講所属名
こども教育学科専門教育科目

履修者数	738	全科目数	22
回答者数	648	実施科目数	22



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名	履修者数	448	全科目数	20
	回答者数	351	実施科目数	20
福祉生活デザイン学科専門教育科目				

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
290 83.8%	29 8.4%	21 6.1%	6 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	346

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
0 0.0%	0 0.0%	55 15.8%	1 0.3%	262 75.3%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
30 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	348

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5:4時間以上 4:2~4時間未満 3:1~2時間未満 2:30分~1時間未満 1:30時間未満 0:0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	178	127	35	7	1	2	350	1	0.766
				50.9%	36.3%	10.0%	2.0%	0.3%	0.6%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.2	175	118	30	14	12	2	351	0	1.002
				49.9%	33.6%	8.5%	4.0%	3.4%	0.6%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.1	159	94	57	24	7	9	350	1	1.044
				45.4%	26.9%	16.3%	6.9%	2.0%	2.6%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.0	160	101	46	19	23	2	351	0	1.184
				45.6%	28.8%	13.1%	5.4%	6.6%	0.6%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.1	163	104	48	20	15	1	351	0	1.100
				46.4%	29.6%	13.7%	5.7%	4.3%	0.3%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.1	149	120	53	10	16	1	349	2	1.050
				42.7%	34.4%	15.2%	2.9%	4.6%	0.3%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	205	101	26	8	7	1	348	3	0.879
				58.9%	29.0%	7.5%	2.3%	2.0%	0.3%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.0	136	132	50	18	12	2	350	1	1.025
				38.9%	37.7%	14.3%	5.1%	3.4%	0.6%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.5	230	70	29	8	9	3	349	2	0.931
				65.9%	20.1%	8.3%	2.3%	2.6%	0.9%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.7	20	28	54	58	92	96	348	3	1.502
				5.7%	8.0%	15.5%	16.7%	26.4%	27.6%			

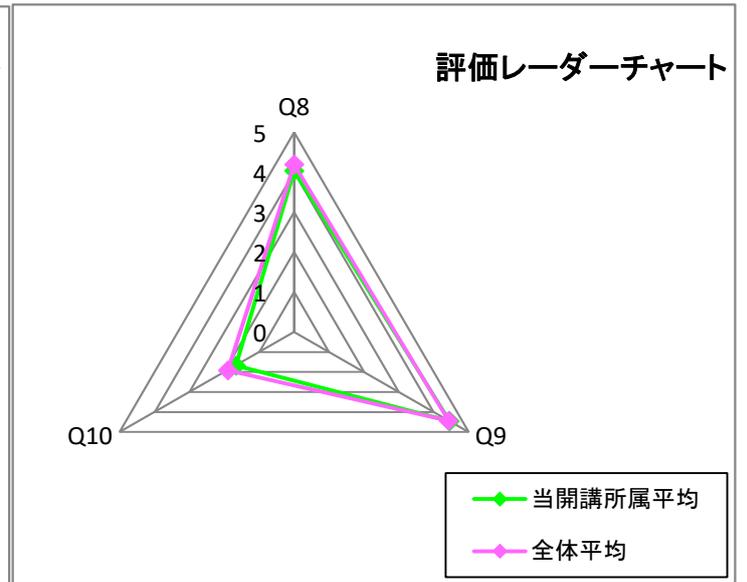
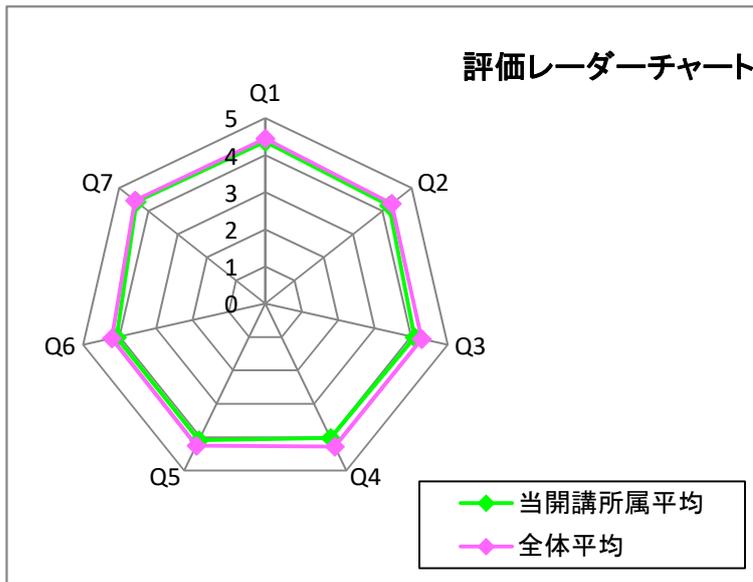
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	3.9	102	131	85	15	7	10	350	1	0.950
				29.1%	37.4%	24.3%	4.3%	2.0%	2.9%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.1	133	131	63	11	5	7	350	1	0.906
				38.0%	37.4%	18.0%	3.1%	1.4%	2.0%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.6	77	98	113	26	18	18	350	1	1.091
				22.0%	28.0%	32.3%	7.4%	5.1%	5.1%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	3.8	100	120	95	18	8	9	350	1	0.984
				28.6%	34.3%	27.1%	5.1%	2.3%	2.6%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.8	98	109	95	24	11	12	349	2	1.048
				28.1%	31.2%	27.2%	6.9%	3.2%	3.4%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.8	91	121	94	19	10	12	347	4	1.001
				26.2%	34.9%	27.1%	5.5%	2.9%	3.5%			

■開講所属

開講所属名
福祉生活デザイン学科専門教育科目

履修者数	448	全科目数	20
回答者数	351	実施科目数	20



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名		履修者数	2,960	全科目数	158
生活福祉文化学部専門教育科目		回答者数	2,611	実施科目数	155

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
3 0.1%	1,457 57.0%	814 31.9%	281 11.0%	0 0.0%	0 0.0%	2,555

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
13 0.5%	40 1.6%	2,407 94.9%	69 2.7%	6 0.2%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2,537

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	1,237 47.6%	1,123 43.2%	214 8.2%	15 0.6%	8 0.3%	4 0.2%	2,601	10	0.686
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.3	1,154 44.4%	1,048 40.3%	297 11.4%	68 2.6%	24 0.9%	11 0.4%	2,602	9	0.828
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.2	1,102 42.4%	1,071 41.2%	346 13.3%	47 1.8%	30 1.2%	5 0.2%	2,601	10	0.828
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.2	1,181 45.4%	1,000 38.4%	309 11.9%	71 2.7%	35 1.3%	5 0.2%	2,601	10	0.864
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.2	1,160 44.6%	994 38.3%	341 13.1%	63 2.4%	34 1.3%	6 0.2%	2,598	13	0.862
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.2	1,172 45.1%	1,010 38.9%	327 12.6%	52 2.0%	36 1.4%	0 0.0%	2,597	14	0.850
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	1,361 52.4%	943 36.3%	235 9.0%	35 1.3%	21 0.8%	2 0.1%	2,597	14	0.772

【学習の状況】

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.2	1,032 39.8%	1,116 43.1%	352 13.6%	57 2.2%	32 1.2%	2 0.1%	2,591	20	0.837
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	1,575 61.0%	649 25.1%	251 9.7%	62 2.4%	28 1.1%	19 0.7%	2,584	27	0.847
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.9	178 6.9%	299 11.6%	410 16.0%	475 18.5%	650 25.3%	556 21.7%	2,568	43	1.537

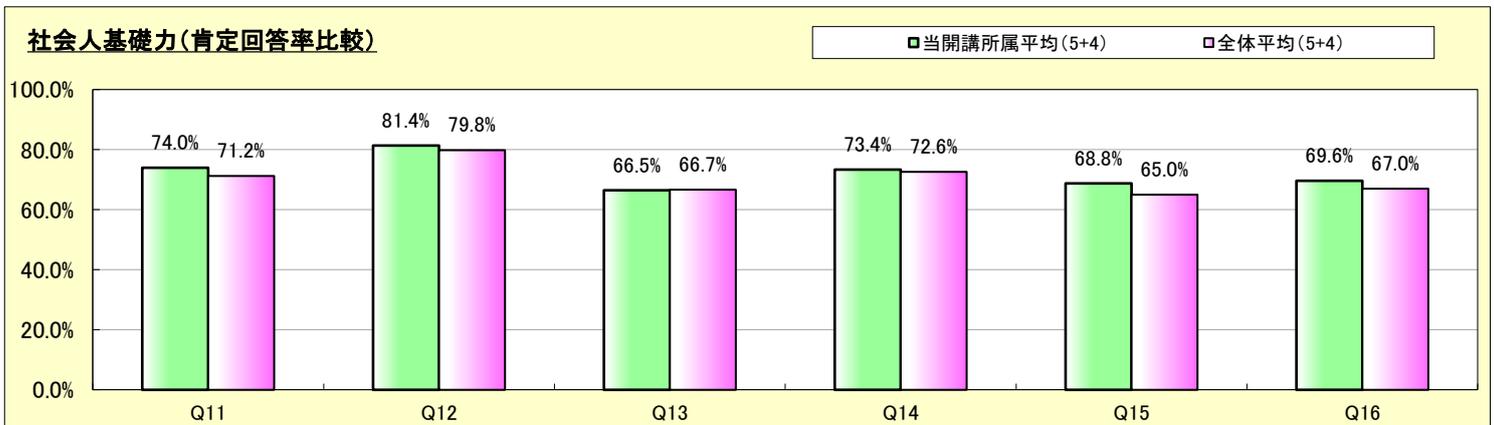
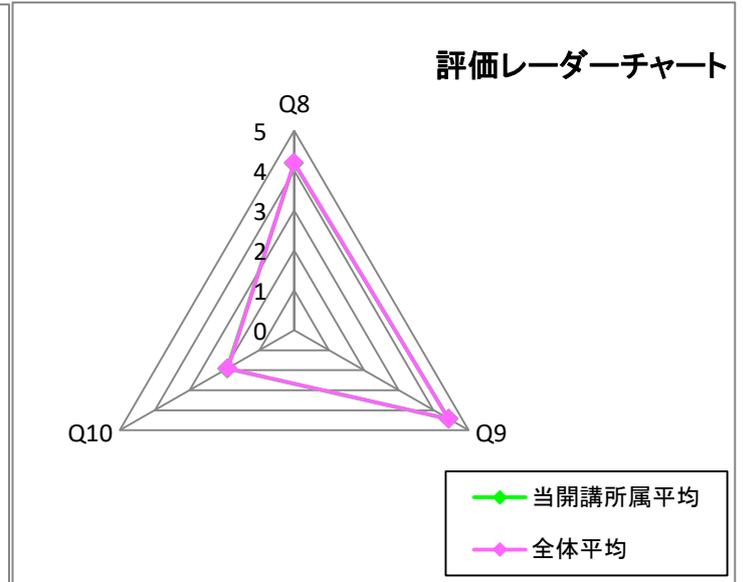
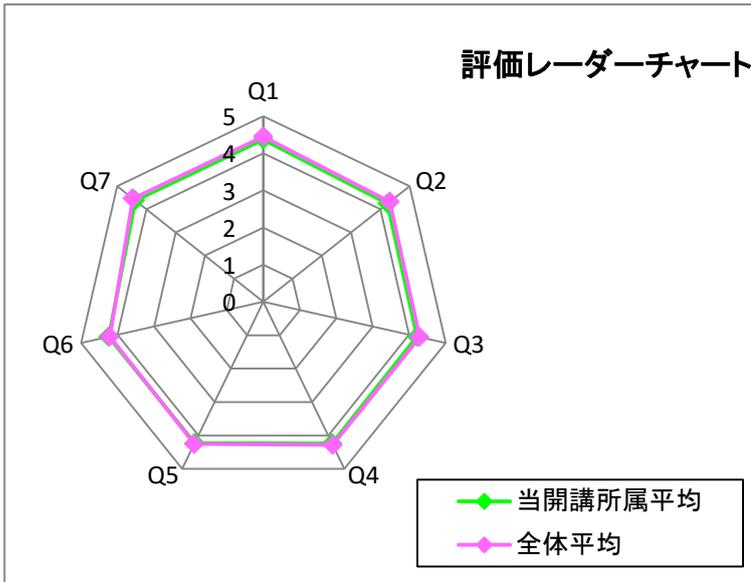
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体 平均点	当開講 所属 平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効 回答	無効 回答	標準 偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.0	841 32.4%	1,081 41.6%	564 21.7%	52 2.0%	33 1.3%	27 1.0%	2,598	13	0.861
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.2	974 37.6%	1,136 43.8%	410 15.8%	37 1.4%	23 0.9%	13 0.5%	2,593	18	0.805
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.9	687 26.5%	1,034 39.9%	708 27.3%	77 3.0%	45 1.7%	38 1.5%	2,589	22	0.901
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.0	823 31.8%	1,077 41.6%	573 22.1%	55 2.1%	40 1.5%	22 0.8%	2,590	21	0.877
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.9	770 29.8%	1,009 39.0%	654 25.3%	68 2.6%	53 2.0%	33 1.3%	2,587	24	0.920
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.9	772 29.9%	1,028 39.8%	637 24.6%	68 2.6%	48 1.9%	32 1.2%	2,585	26	0.908

■開講所属

開講所属名
生活福祉文化学部専門教育科目

履修者数	2,960	全科目数	158
回答者数	2,611	実施科目数	155



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属

開講所属名	履修者数	3,692	全科目数	126
	回答者数	2,847	実施科目数	122
心理学部専門教育科目				

■学年

1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
8 0.3%	1,321 47.2%	1,068 38.1%	397 14.2%	4 0.1%	3 0.1%	2,801

■所属学部・学科

人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
9 0.3%	11 0.4%	22 0.8%	2,703 97.0%	0 0.0%
現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
16 0.6%	20 0.7%	4 0.1%	3 0.1%	2,788

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】

※Q10 5: 4時間以上 4: 2~4時間未満 3: 1~2時間未満 2: 30分~1時間未満 1: 30時間未満 0: 0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.5	1,596 56.3%	1,049 37.0%	154 5.4%	18 0.6%	8 0.3%	8 0.3%	2,833	14	0.657
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.3	1,447 51.1%	1,039 36.7%	235 8.3%	71 2.5%	34 1.2%	6 0.2%	2,832	15	0.829
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.3	1,421 50.2%	1,020 36.0%	287 10.1%	64 2.3%	33 1.2%	5 0.2%	2,830	17	0.835
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.3	1,512 53.5%	933 33.0%	256 9.1%	75 2.7%	49 1.7%	3 0.1%	2,828	19	0.879
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.3	1,417 50.1%	983 34.7%	303 10.7%	84 3.0%	40 1.4%	2 0.1%	2,829	18	0.877
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.3	1,465 51.8%	949 33.6%	292 10.3%	86 3.0%	33 1.2%	3 0.1%	2,828	19	0.864
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.5	1,822 64.5%	801 28.3%	150 5.3%	34 1.2%	17 0.6%	2 0.1%	2,826	21	0.706

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.2	1,243 44.2%	1,133 40.2%	312 11.1%	82 2.9%	40 1.4%	5 0.2%	2,815	32	0.863
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.4	1,796 63.8%	635 22.6%	253 9.0%	83 3.0%	40 1.4%	6 0.2%	2,813	34	0.881
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.8	180 6.4%	225 8.0%	514 18.3%	562 20.0%	650 23.2%	673 24.0%	2,804	43	1.498

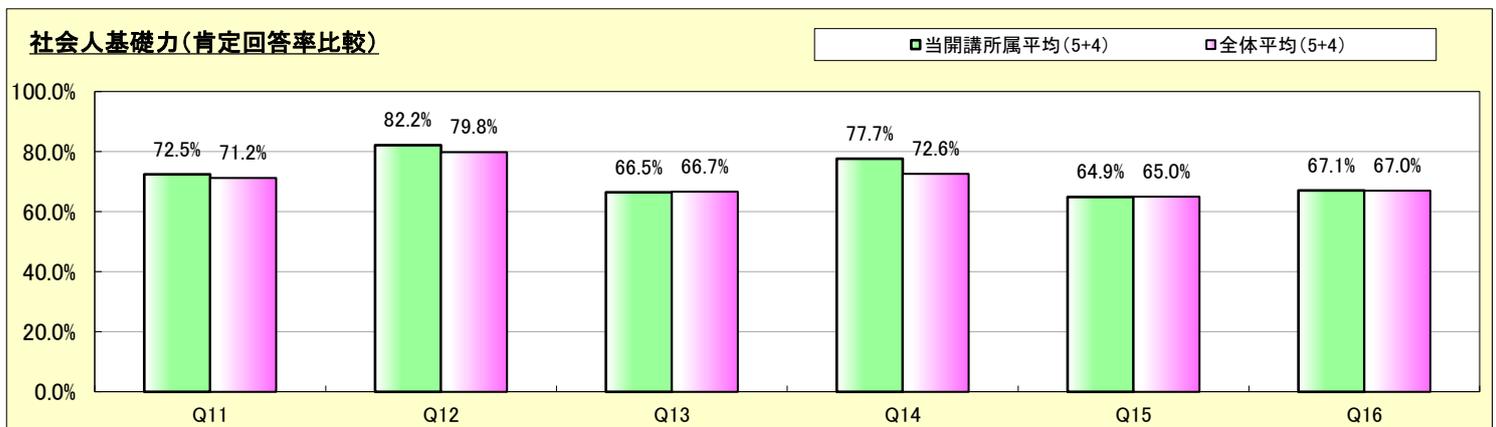
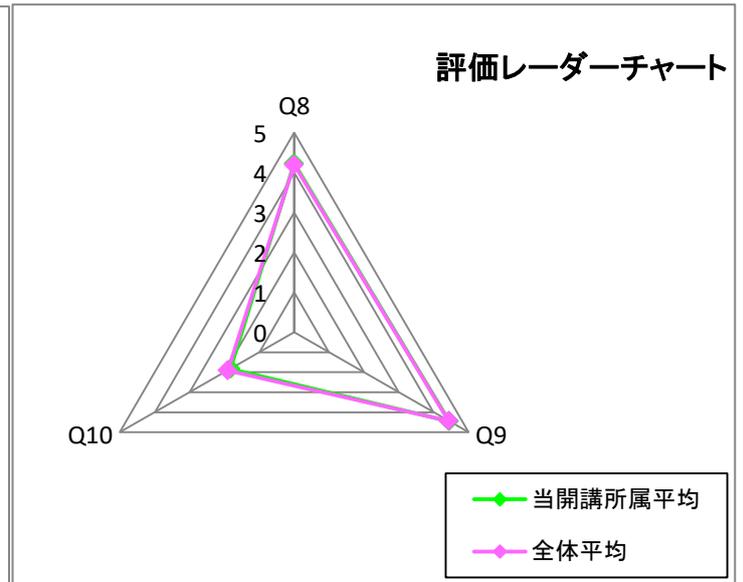
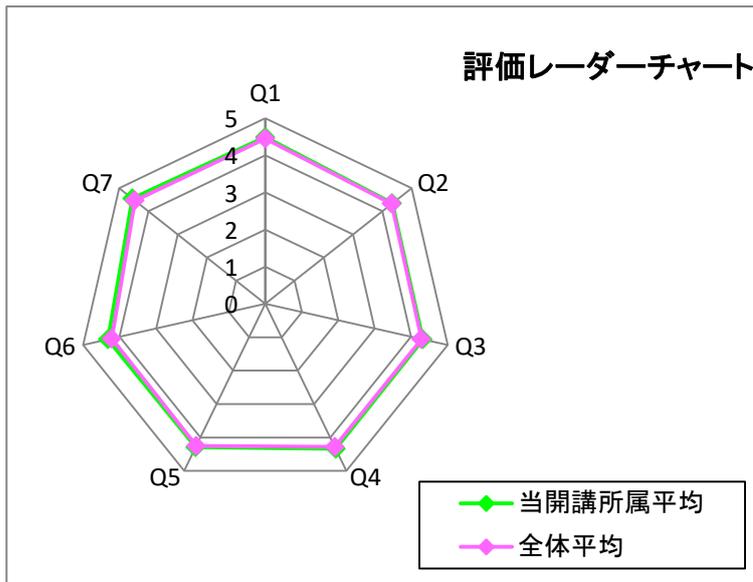
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.0	1,003 35.6%	1,038 36.8%	636 22.6%	47 1.7%	46 1.6%	47 1.7%	2,817	30	0.898
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.3	1,280 45.5%	1,031 36.7%	402 14.3%	37 1.3%	34 1.2%	29 1.0%	2,813	34	0.839
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.9	856 30.5%	1,011 36.0%	693 24.7%	88 3.1%	60 2.1%	101 3.6%	2,809	38	0.947
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.1	1,086 38.6%	1,096 39.0%	498 17.7%	47 1.7%	44 1.6%	39 1.4%	2,810	37	0.875
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	3.9	870 30.9%	957 34.0%	716 25.4%	95 3.4%	79 2.8%	98 3.5%	2,815	32	0.988
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	3.9	862 30.7%	1,019 36.3%	692 24.7%	82 2.9%	63 2.2%	86 3.1%	2,804	43	0.947

■開講所属

開講所属名
心理学部専門教育科目

履修者数	3,692	全科目数	126
回答者数	2,847	実施科目数	122



2017年度 学生による授業評価アンケート集計結果表(開講所属別)

京都ノートルダム女子大学

■開講所属	開講所属名		履修者数	857	全科目数	52
	資格科目等		回答者数	719	実施科目数	50

■学年	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	科目等履修生	その他	計
	81 11.4%	255 36.0%	228 32.2%	144 20.3%	1 0.1%	0 0.0%	709

■所属学部・学科	人間文化学部 英語英文学科	人間文化学部 人間文化学科	生活福祉 文化学部	心理学部	現代人間学部 福祉生活 デザイン学科
	139 19.7%	252 35.7%	123 17.4%	156 22.1%	10 1.4%
	現代人間学部 心理学科	現代人間学部 こども教育学科	科目等履修生	その他	計
	19 2.7%	3 0.4%	2 0.3%	1 0.1%	705

※Q10以外 5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない 0: 該当しない

【授業の状況】 ※Q10 5:4時間以上 4:2~4時間未満 3:1~2時間未満 2:30分~1時間未満 1:30時間未満 0:0分

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q1	授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	4.5	4.4	376	271	55	5	4	2	713	6	0.713
				52.7%	38.0%	7.7%	0.7%	0.6%	0.3%			
Q2	授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	4.3	4.2	330	262	88	21	10	2	713	6	0.881
				46.3%	36.7%	12.3%	2.9%	1.4%	0.3%			
Q3	成績評価の仕方が明確に示されていた	4.3	4.2	324	262	91	22	7	7	713	6	0.863
				45.4%	36.7%	12.8%	3.1%	1.0%	1.0%			
Q4	教員の話し方は、わかりやすかった	4.3	4.2	337	246	98	19	9	2	711	8	0.880
				47.4%	34.6%	13.8%	2.7%	1.3%	0.3%			
Q5	教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	4.3	4.2	321	260	97	20	11	3	712	7	0.893
				45.1%	36.5%	13.6%	2.8%	1.5%	0.4%			
Q6	授業は興味関心の持てる内容であった	4.2	4.2	314	241	115	28	11	4	713	6	0.937
				44.0%	33.8%	16.1%	3.9%	1.5%	0.6%			
Q7	授業の教室の広さや設備などは適切であった	4.5	4.4	399	225	70	9	6	2	711	8	0.786
				56.1%	31.6%	9.8%	1.3%	0.8%	0.3%			

【学習の状況】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q8	授業の内容は理解できた	4.2	4.1	278	278	113	26	11	3	709	10	0.910
				39.2%	39.2%	15.9%	3.7%	1.6%	0.4%			
Q9	やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	4.4	4.5	459	151	68	13	13	5	709	10	0.880
				64.7%	21.3%	9.6%	1.8%	1.8%	0.7%			
Q10	この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	1.9	1.8	37	62	118	150	178	159	704	15	1.452
				5.3%	8.8%	16.8%	21.3%	25.3%	22.6%			

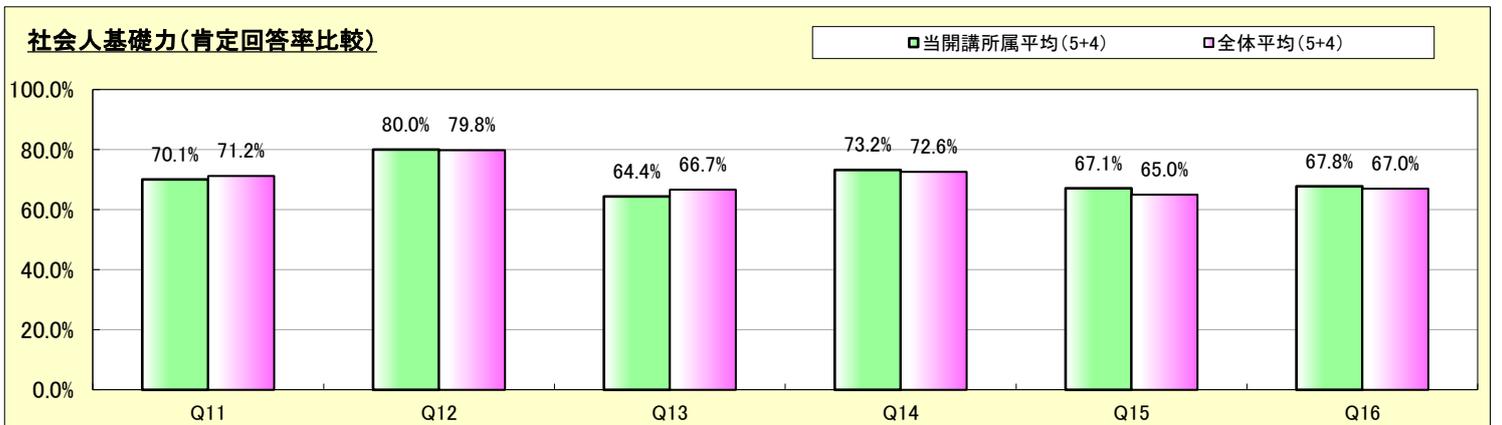
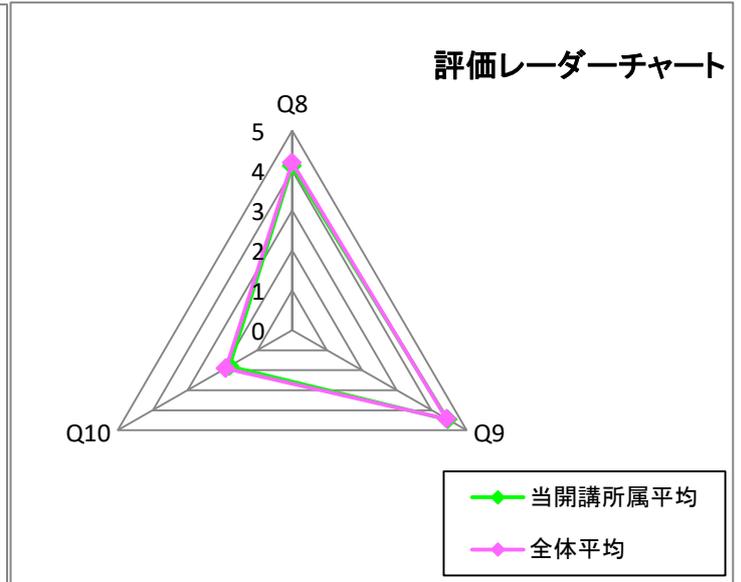
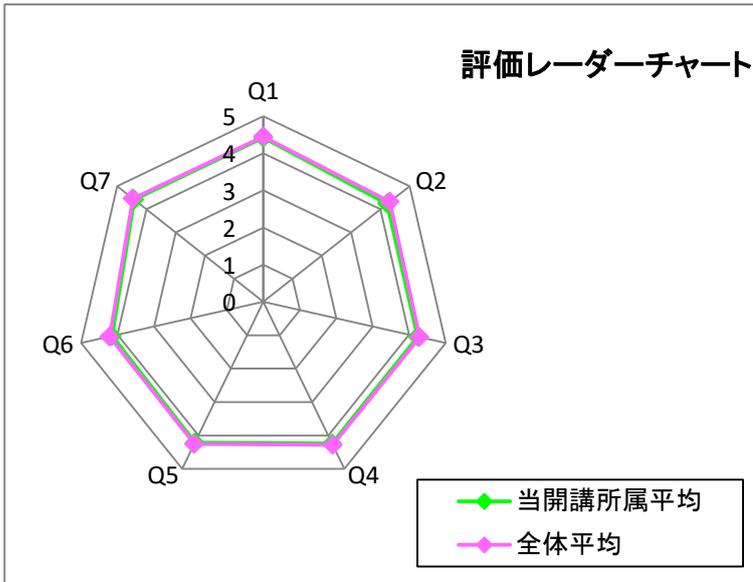
【学習成果 (4年間で育てたい力 ND6)】

No.	設問文	全体平均点	当開講所属平均点	上段:回答数 / 下段:回答率(%)						有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1	0			
Q11	この授業で、「自分を育てる力」が向上した	4.0	4.0	254	245	167	20	14	12	712	7	0.946
				35.7%	34.4%	23.5%	2.8%	2.0%	1.7%			
Q12	この授業で、「知識・理解力」が向上した	4.2	4.2	299	270	120	12	6	4	711	8	0.836
				42.1%	38.0%	16.9%	1.7%	0.8%	0.6%			
Q13	この授業で、「言語力」が向上した	3.9	3.9	234	224	198	22	17	16	711	8	0.980
				32.9%	31.5%	27.8%	3.1%	2.4%	2.3%			
Q14	この授業で、「思考・解決力」が向上した	4.0	4.1	272	248	155	18	9	8	710	9	0.906
				38.3%	34.9%	21.8%	2.5%	1.3%	1.1%			
Q15	この授業で、「共生・協働する力」が向上した	3.9	4.0	242	236	184	18	18	14	712	7	0.971
				34.0%	33.1%	25.8%	2.5%	2.5%	2.0%			
Q16	この授業で、「創造・発信力」が向上した	3.9	4.0	255	227	172	30	14	13	711	8	0.982
				35.9%	31.9%	24.2%	4.2%	2.0%	1.8%			

■開講所属

開講所属名
資格科目等

履修者数	857	全科目数	52
回答者数	719	実施科目数	50



4. 「学生による授業評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題

全学のアンケートの「授業の状況」の7項目で、全学平均が4.2点以上あり、高い数値を示している。「学習の状況」では、(8)「授業の内容は理解できた」の項目で4.2点、また(9)「やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった」では4.4点と高い数値を示している一方で、(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」の設問では、1.9点であり例年と同様、平均1時間未満という低い結果となっている。「学習成果(4年間で育てたい力 ND6)」では、各項目で3.9点以上あり、均整のとれた結果が示されている。

次に授業形態別のアンケート結果では、「講義」「演習」「実習」「卒業研究」の各項目において、4.0点以上の高い結果を示しているが、(10)の学習時間の項目では、授業形態別で結果が異なっている。「卒業研究」では、3.6点と高い数値を示しており、「演習」「講義」ではそれぞれ2.1点、2.5点という数値を示している。一番低い数値を示しているのが「講義」で1.7点であった。講義科目では、ほかの授業形態と比較して、課題の設定やフィードバックが困難であることが本結果と関連していると考えられよう。

開講所属別のアンケート結果では、「共通教育科目」では、各項目において、全体平均点より0.1~0.2点低い数値を示している。「現代人間学部共通科目」では(9)を除いて、全学平均点より0.1~0.4点低い数値を示している。続いて「英語英文学科専門教育科目」では、各項目において全学平均点とほぼ同様の結果であるが、(10)では、2.4点を示しており、全学平均の1.9点より0.5点高い数値を示している。「人間文化学科専門教育科目」では、各項目において全学平均と概ね同様の結果となっているが、「学習成果」(16)「この授業で、『想像・発信力』が向上した」の項目では、4.1点という高い数値を示している。「心理学科専門教育科目」では、各項目において全学平均と概ね同様の結果となったが、(2)「授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった」の項目において、4.5点と高い数値を示している。一方で(10)では、1.4点という全学平均より0.5点低い結果となった。「こども教育学科専門教育科目」では、概ね全学平均と同様の結果となった。「福祉生活デザイン学科専門教育科目」、「生活福祉文化学部専門教育科目」、「心理学部専門教育科目」ともに、概ね全学平均と同様の数値を示している。「資格科目等」の「授業の状況」では、平均して全学平均よりも0.1点低い結果を示しているが、「学習成果」の(14)(15)(16)では、全学平均よりも0.1点高い数値を示している。

以上のアンケート結果に鑑みて、概ね前年と同様の結果となったが、前年と同様に、自学自習に費やす時間が少ないという点が見られ、授業時間外の学習時間については、全学的な対策が必要だろう。また、前年に引き続き、各項目で高水準の点数を示している結果は望外であり、実質的な指標としてとらえることに抵抗を覚えざるをえない。今後も授業評価アンケートの実施方法を含め根本的な議論を継続することが望ましいだろう。

文責： 大川 淳 (人間文化学部英語英文学科 FD 委員)



ご意見・ご要望を
お聞かせください

学生による授業評価アンケート

【注意事項】

- ・複数の教員が指導する科目については、当学期にこれまで行われたすべての授業を振り返り、総合的に判断して記入してください。
- ・このアンケートは、授業をよりよくし、本学の教育をさらに充実させるために行うものです。成績評価とは全く関係ありませんので、設問に対して率直に答えてください。また、回答を強制するものではありません。
- ・このアンケート用紙は、回収後、第三者により入力されるため、直接、担当教員が見ることはありません。

I. あなたの学年の番号にマークしてください。

- ① 1年次生 ② 2年次生 ③ 3年次生 ④ 4年次生 ⑤ 科目等履修生 ⑥ その他

II. あなたの所属学部(学科)の番号にマークしてください。

- ① 人間文化(英語英文) ② 人間文化(人間文化) ③ 生活福祉文化 ④ 心理 ⑤ 現代人間(福祉生活デザイン)
⑥ 現代人間(心理) ⑦ 現代人間(こども教育) ⑧ 科目等履修生 ⑨ その他

III. この科目(授業)について、設問ごとに最もあてはまる回答番号を1つ選び、マークしてください。

【授業の状況】

	5 そう思う	4 どちらかと言えば そう思う	3 どちらとも 言えない	2 どちらかと言えば そう思わない	1 そう 思わない	0 該当 しない
(1) 授業はシラバス(目標・内容・方法など)に沿った内容であった	5	4	3	2	1	0
(2) 授業中に使う教材(テキスト・配布資料など)は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた	5	4	3	2	1	0
(4) 教員の話し方は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	5	4	3	2	1	0
(6) 授業は興味関心の持てる内容であった	5	4	3	2	1	0
(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった	5	4	3	2	1	0

【学習の状況】

	5	4	3	2	1	0
(8) 授業の内容は理解できた	5	4	3	2	1	0
(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	5	4	3	2	1	0
(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	5 (4時間以上)	4 (2~4時間未満)	3 (1~2時間未満)	2 (30分~1時間未満)	1 (30分未満)	0 (0分)

【学習成果(4年間で育てたい力 ND6)】 本学では卒業時に身につけておくべき6つの力「ND6」を定めています。

	5	4	3	2	1	0
(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(13) この授業で、「言語力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した	5	4	3	2	1	0

【授業形態項目(講義)】

	5	4	3	2	1	0
(17) 教員は、私語の注意など受講マナーを守らせるよう配慮していた	5	4	3	2	1	0
(18) 黒板の字や視聴覚教材(パワーポイントなど)は見やすかった	5	4	3	2	1	0
(19) 授業の進むペースは適切であった	5	4	3	2	1	0

【独自設定項目】

	5	4	3	2	1	0
(20)	5	4	3	2	1	0

IV. この科目(授業)について「よかった点」を記入してください。

.....

.....

V. この科目(授業)について「改善すべき点」を記入してください。

.....

.....



ご意見・ご要望を
お聞かせください

学生による授業評価アンケート

京都ノートルダム女子大学

2017年度

（注意事項）

- ・複数の教員が指導する科目については、当学期にこれまで行われたすべての授業を振り返り、総合的に判断して記入してください。
- ・このアンケートは、授業をよりよくし、本学の教育をさらに充実させるために行うものです。成績評価とは全く関係ありませんので、設問に対して率直に答えてください。また、回答を強制するものではありません。
- ・このアンケート用紙は、回収後、第三者により入力されるため、直接、担当教員が見ることはありません。

I. あなたの学年の番号にマークしてください。

- ① 1年次生 ② 2年次生 ③ 3年次生 ④ 4年次生 ⑤ 科目等履修生 ⑥ その他

II. あなたの所属学部（学科）の番号にマークしてください。

- ① 人間文化（英語英文） ② 人間文化（人間文化） ③ 生活福祉文化 ④ 心理 ⑤ 現代人間（福祉生活デザイン）
⑥ 現代人間（心理） ⑦ 現代人間（こども教育） ⑧ 科目等履修生 ⑨ その他

III. この科目（授業）について、設問ごとに最もあてはまる回答番号を1つ選び、マークしてください。

【授業の状況】	5 そう思う	4 どちらかと言えば そう思う	3 どちらとも 言えない	2 どちらかと言えば そう思わない	1 そう 思わない	0 該当 しない
(1) 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であった	5	4	3	2	1	0
(2) 授業中に使う教材（テキスト・配布資料など）は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた	5	4	3	2	1	0
(4) 教員の話し方は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	5	4	3	2	1	0
(6) 授業は興味関心の持てる内容であった	5	4	3	2	1	0
(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった	5	4	3	2	1	0

【学習の状況】

(8) 授業の内容は理解できた	5	4	3	2	1	0
(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	5	4	3	2	1	0
(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	5 (4時間以上)	4 (2~4時間未満)	3 (1~2時間未満)	2 (30分~1時間未満)	1 (30分未満)	0 (0分)

【学習成果（4年間で育てたい力 ND6）】 本学では卒業時に身につけておくべき6つの力「ND6」を定めています。

(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(13) この授業で、「言語力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した	5	4	3	2	1	0

【授業形態項目（演習）】

(17) 発表や課題提出に対して教員から適切なフィードバックがあった	5	4	3	2	1	0
(18) 教員とコミュニケーションがとれた	5	4	3	2	1	0
(19) 授業中に質問や発言を積極的にした	5	4	3	2	1	0

【独自設定項目】

(20)	5	4	3	2	1	0
------	---	---	---	---	---	---

IV. この科目(授業)について「よかった点」を記入してください。

.....

.....

.....

V. この科目(授業)について「改善すべき点」を記入してください。

.....

.....

.....



ご意見・ご要望を
お聞かせください

学生による授業評価アンケート

（注意事項）

- ・複数の教員が指導する科目については、当学期にこれまで行われたすべての授業を振り返り、総合的に判断して記入してください。
- ・このアンケートは、授業をよりよくし、本学の教育をさらに充実させるために行うものです。成績評価とは全く関係ありませんので、設問に対して率直に答えてください。また、回答を強制するものではありません。
- ・このアンケート用紙は、回収後、第三者により入力されるため、直接、担当教員が見ることはありません。

I. あなたの学年の番号にマークしてください。

- ① 1年次生 ② 2年次生 ③ 3年次生 ④ 4年次生 ⑤ 科目等履修生 ⑥ その他

II. あなたの所属学部（学科）の番号にマークしてください。

- ① 人間文化（英語英文） ② 人間文化（人間文化） ③ 生活福祉文化 ④ 心理 ⑤ 現代人間（福祉生活デザイン）
⑥ 現代人間（心理） ⑦ 現代人間（こども教育） ⑧ 科目等履修生 ⑨ その他

III. この科目（授業）について、設問ごとに最もあてはまる回答番号を1つ選び、マークしてください。

【授業の状況】	5 そう思う	4 どちらかと言えば そう思う	3 どちらとも 言えない	2 どちらかと言えば そう思わない	1 そう 思わない	0 該当 しない
(1) 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であった	5	4	3	2	1	0
(2) 授業中に使う教材（テキスト・配布資料など）は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた	5	4	3	2	1	0
(4) 教員の話し方は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	5	4	3	2	1	0
(6) 授業は興味関心の持てる内容であった	5	4	3	2	1	0
(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった	5	4	3	2	1	0

【学習の状況】

(8) 授業の内容は理解できた	5	4	3	2	1	0
(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	5	4	3	2	1	0
(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	5 (4時間以上)	4 (2~4時間未満)	3 (1~2時間未満)	2 (90分~1時間未満)	1 (30分未満)	0 (0分)

【学習成果（4年間で育てたい力 ND6）】 本学では卒業時に身につけておくべき6つの力「ND6」を定めています。

(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(13) この授業で、「言語力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した	5	4	3	2	1	0

【授業形態項目（ 実 習 ）】

(17) 実習はやりがいがあった	5	4	3	2	1	0
(18) 授業中に質問や発言を積極的にした	5	4	3	2	1	0
(19) TAなどのサポートが役に立った	5	4	3	2	1	0

【独自設定項目】

(20)	5	4	3	2	1	0
------	---	---	---	---	---	---

IV. この科目(授業)について「よかった点」を記入してください。

.....

.....

V. この科目(授業)について「改善すべき点」を記入してください。

.....

.....



ご意見・ご要望を
お聞かせください

学生による授業評価アンケート

（注意事項）

- ・複数の教員が指導する科目については、当学期にこれまで行われたすべての授業を振り返り、総合的に判断して記入してください。
- ・このアンケートは、授業をよりよくし、本学の教育をさらに充実させるために行うものです。成績評価とは全く関係ありませんので、設問に対して率直に答えてください。また、回答を強制するものではありません。
- ・このアンケート用紙は、回収後、第三者により入力されるため、直接、担当教員が見ることはありません。

I. あなたの学年の番号にマークしてください。

- ① 1年次生 ② 2年次生 ③ 3年次生 ④ 4年次生 ⑤ 科目等履修生 ⑥ その他

II. あなたの所属学部（学科）の番号にマークしてください。

- ① 人間文化（英語英文） ② 人間文化（人間文化） ③ 生活福祉文化 ④ 心理 ⑤ 現代人間（福祉生活デザイン）
⑥ 現代人間（心理） ⑦ 現代人間（こども教育） ⑧ 科目等履修生 ⑨ その他

III. この科目（授業）について、設問ごとに最もあてはまる回答番号を1つ選び、マークしてください。

【授業の状況】	5 そう思う	4 どちらかと言えば そう思う	3 どちらとも 言えない	2 どちらかと言えば そう思わない	1 そう 思わない	0 該当 しない
(1) 授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であった	5	4	3	2	1	0
(2) 授業中に使う教材（テキスト・配布資料など）は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(3) 成績評価の仕方が明確に示されていた	5	4	3	2	1	0
(4) 教員の話し方は、わかりやすかった	5	4	3	2	1	0
(5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた	5	4	3	2	1	0
(6) 授業は興味関心の持てる内容であった	5	4	3	2	1	0
(7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった	5	4	3	2	1	0

【学習の状況】

(8) 授業の内容は理解できた	5	4	3	2	1	0
(9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった	5	4	3	2	1	0
(10) この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか	5 (4時間以上)	4 (2~4時間未満)	3 (1~2時間未満)	2 (30分~1時間未満)	1 (30分未満)	0 (0分)

【学習成果（4年間で育てたい力 ND6）】 本学では卒業時に身につけておくべき6つの力「ND6」を定めています。

(11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(12) この授業で、「知識・理解力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(13) この授業で、「言語力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(14) この授業で、「思考・解決力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(15) この授業で、「共生・協働する力」が向上した	5	4	3	2	1	0
(16) この授業で、「創造・発信力」が向上した	5	4	3	2	1	0

【授業形態項目（卒業研究）】

(17) 卒業研究の作成過程・出来栄に満足している	5	4	3	2	1	0
(18) 指導教員から適切な指導を受けた	5	4	3	2	1	0
(19) 卒業研究作成の過程で、多くの学びがあった	5	4	3	2	1	0

【独自設定項目】

(20)	5	4	3	2	1	0
------	---	---	---	---	---	---

IV. この科目(授業)について「よかった点」を記入してください。

.....

.....

V. この科目(授業)について「改善すべき点」を記入してください。

.....

.....

II 2017（平成 29）年度「大学院生による教育評価アンケート」実施報告

1. 実施目的

今後の教育内容の改善、また充実した教育プログラムの維持・構築に役立てることを目的とする。本学大学院の教育の質的向上を目指して、全学的規模で「大学院生による教育評価アンケート」を実施した。

2. 実施方法

1) 実施期間

2017（平成 29）年 12 月 8 日(金)～2018（平成 30）年 2 月 2 日(金)に調査票の配付および回収を行った。

2) 調査対象者

調査対象者：全研究科の大学院生

3) 在籍者数・回収数・回収率

研究科	専攻科	在籍者数 (名)	回答者数 (名)	回答率
人間文化研究科	応用英語専攻	5	5	100.0%
	人間文化専攻	0	0	-
	生活福祉文化専攻	3	3	100.0%
	研究科計	8	8	100.0%
心理学研究科	発達・学校心理学専攻	3	3	100.0%
	臨床心理学専攻	10	10	100.0%
	研究科計	13	13	100.0%
計		21	21	100.0%

4) 調査内容

最初に、回答者の属性（学年・所属研究科（専攻））を尋ね、次に当該科目に関する以下の項目について尋ねた。設問は選択式 10 問、自由記述 2 問であった。

調査項目

(1) 評価項目

選択式

- ① 学位取得のための道筋が明確に示されている
- ② 提示されたカリキュラムは納得のいくものである
- ③ 授業時間割はバランスよく配置されている
- ④ 提供される科目の授業内容が明確に示されている

- ⑤ 個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている
- ⑥ 研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている
- ⑦ オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている
- ⑧ 研究科（専攻）、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている
- ⑨ 自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている
- ⑩ キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている

自由記述

- あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「よかった点」を記入してください。
- あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「改善すべき点」を記入してください。

(2) 回答形式

選択式設問①～⑩については、以下の5件法で回答させた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない

5) 実施手順

人間文化研究科応用英語専攻では、調査票を指導教員が大学院生に個別に配付し、生活福祉文化専攻では修士論文口頭試問待機時に配付した。心理学研究科については、修士論文発表会時に配付した。回収は各大学院生が教務部学事課に提出することによった。

6) 結果の集計

調査票の印刷および集計処理は、株式会社教育ソフトウェアに依頼した。

7) 教員への結果通知と集計結果の配付

2018（平成30）年3月に、全学および、研究科／専攻ごとの集計結果を専任教員に配付した。

「大学院生による教育評価アンケート」

3.集計結果

(1) 【全研究科】

■専攻

回答者数	21
------	----

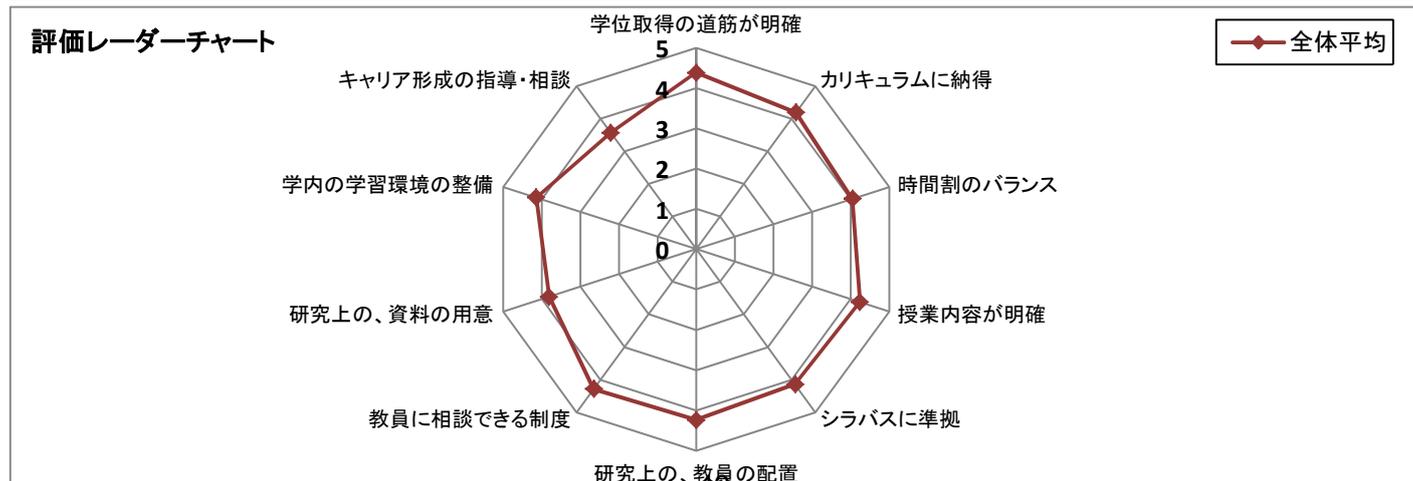
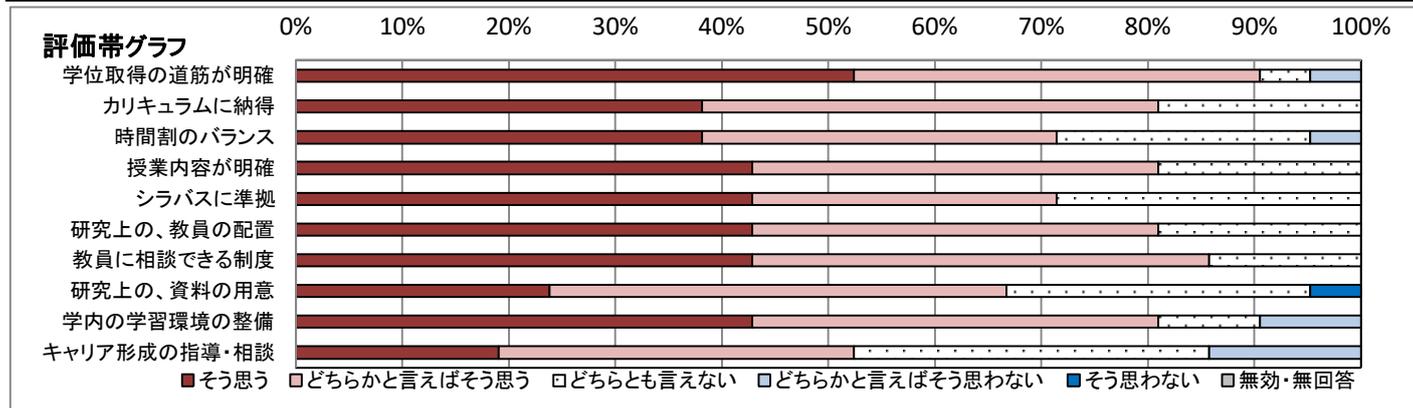
応用英語専攻	生活福祉文化専攻	人間文化専攻	発達・学校心理学専攻	臨床心理学専攻	心理学専攻	科目等履修生	計
5 23.8%	3 14.3%	0 0.0%	3 14.3%	10 47.6%	0 0.0%	0 0.0%	21

■学年

修士課程(M1)	修士課程(M2)	博士前期課程(M1)	博士前期課程(M2)	博士後期課程(D1)	博士後期課程(D2)	博士後期課程(D3)	計
7 33.3%	5 23.8%	4 19.0%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21

5: と思う 4: どちらかと言えば思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
			5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	11 52.4%	8 38.1%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	21	0	0.785
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	8 38.1%	9 42.9%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	21	0	0.732
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	8 38.1%	7 33.3%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	21	0	0.898
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	9 42.9%	8 38.1%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	21	0	0.750
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	9 42.9%	6 28.6%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	21	0	0.833
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	9 42.9%	8 38.1%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	21	0	0.750
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	9 42.9%	9 42.9%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	21	0	0.700
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	5 23.8%	9 42.9%	6 28.6%	0 0.0%	1 4.8%	21	0	0.957
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	9 42.9%	8 38.1%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%	21	0	0.940
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	4 19.0%	7 33.3%	7 33.3%	3 14.3%	0 0.0%	21	0	0.955



「大学院生による教育評価アンケート」

3.集計結果

(2) 【研究科別】

2017年度 大学院生による教育評価アンケート集計結果表(研究科別) 京都ノートルダム女子大学

■研究科

回答者数 8

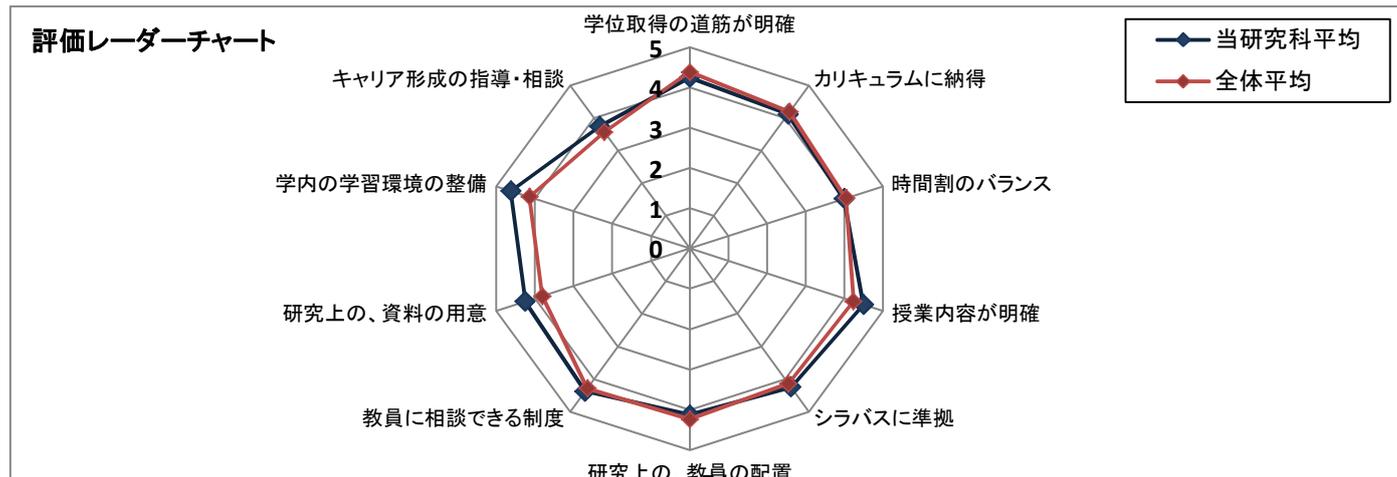
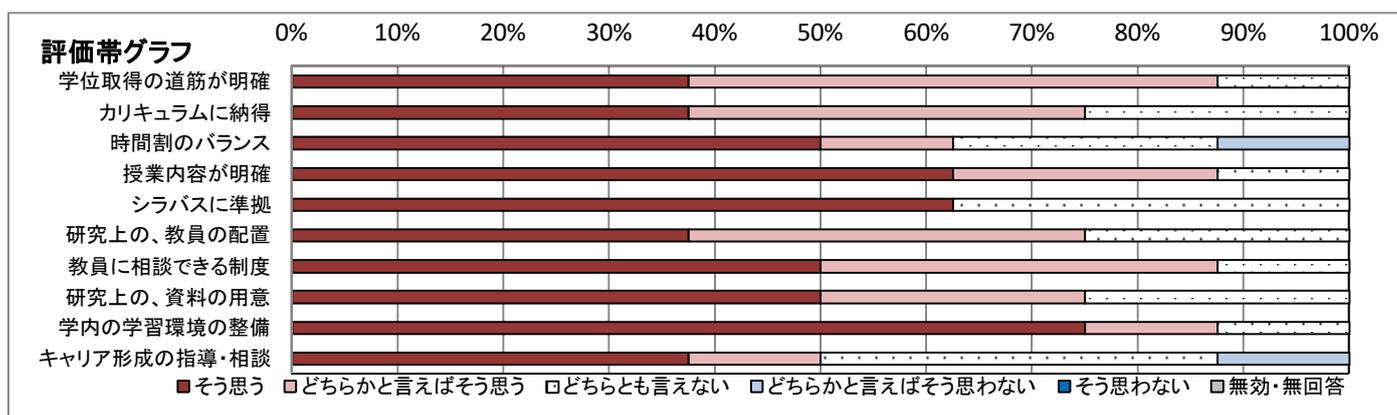
人間文化研究科

■学年

修士課程(M1)	修士課程(M2)	博士前期課程(M1)	博士前期課程(M2)	博士後期課程(D1)	博士後期課程(D2)	博士後期課程(D3)	計
3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当研究科平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.3	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.661
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	4.1	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.781
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	4.0	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	8	0	1.118
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	4.5	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.707
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	4.3	5 62.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.968
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	4.1	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.781
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	4.4	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.696
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	4.3	4 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.829
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	4.6	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	0	0.696
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	3.8	3 37.5%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	8	0	1.090



2017年度 大学院生による教育評価アンケート集計結果表(研究科別) 京都ノートルダム女子大学

■研究科

回答者数	13
------	----

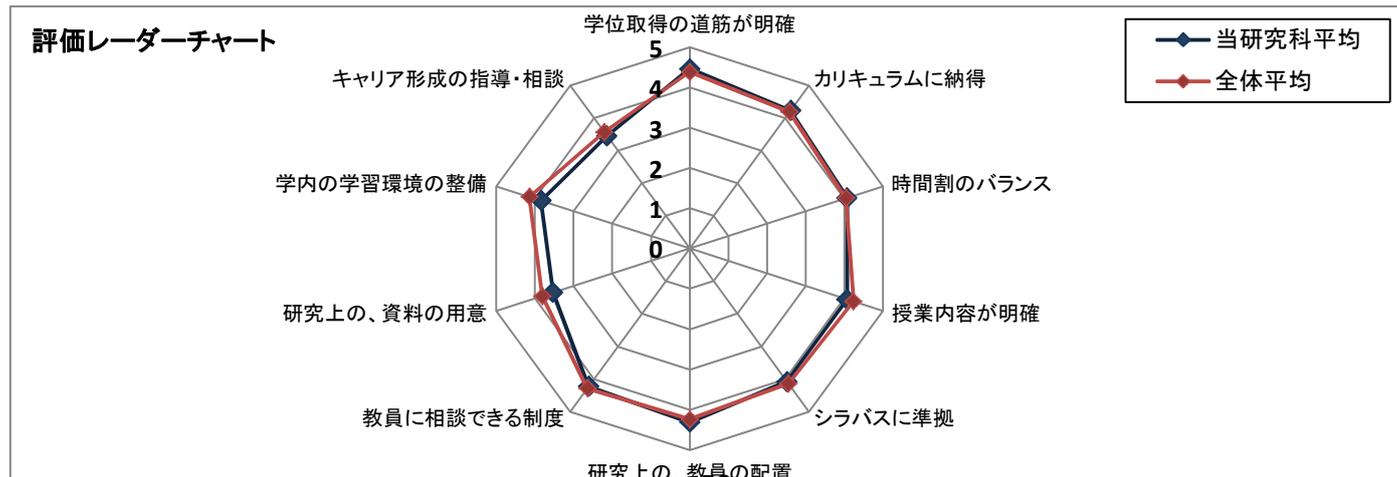
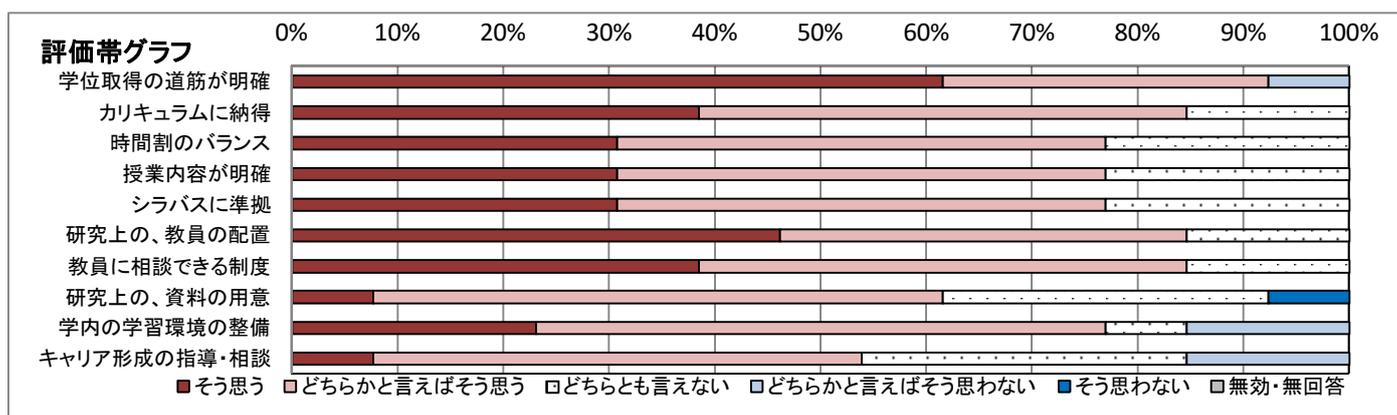
心理学研究科

■学年

修士課程(M1)		修士課程(M2)		博士前期課程(M1)		博士前期課程(M2)		博士後期課程(D1)		博士後期課程(D2)		博士後期課程(D3)		計
4	30.8%	0	0.0%	4	30.8%	5	38.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当研究科平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.5	8 61.5%	4 30.8%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	13	0	0.843
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	4.2	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.697
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	4.1	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.730
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	4.1	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.730
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	4.1	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.730
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	4.3	6 46.2%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.722
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	4.2	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	13	0	0.697
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	3.5	1 7.7%	7 53.8%	4 30.8%	0 0.0%	1 7.7%	13	0	0.929
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	3.8	3 23.1%	7 53.8%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	13	0	0.948
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	3.5	1 7.7%	6 46.2%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	13	0	0.843



「大学院生による教育評価アンケート」

3.集計結果

(3) 【専攻別】

■専攻

回答者数	5
------	---

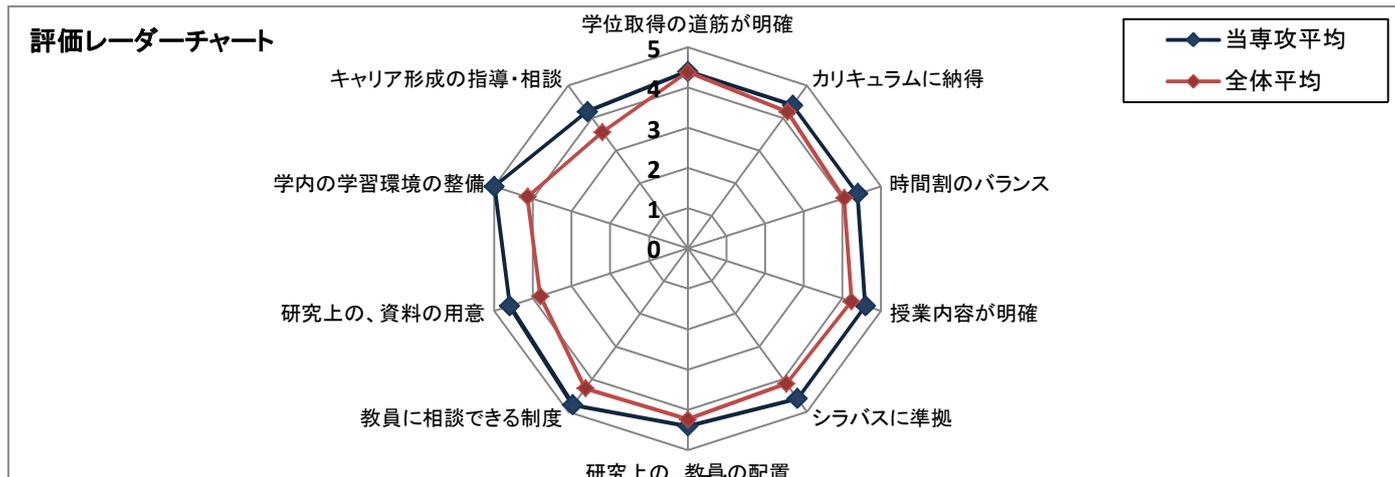
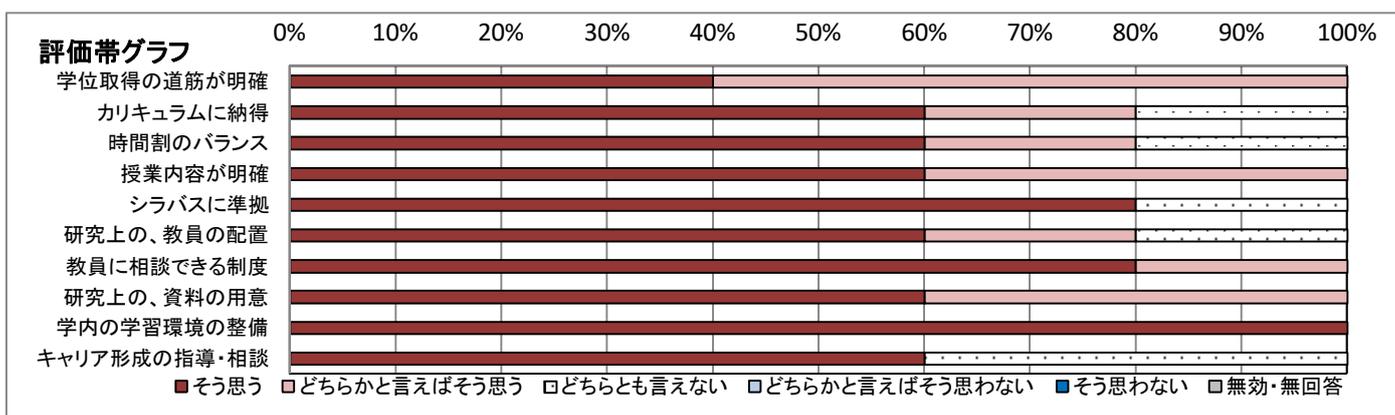
応用英語専攻

■学年

修士課程(M1)		修士課程(M2)		博士前期課程(M1)		博士前期課程(M2)		博士後期課程(D1)		博士後期課程(D2)		博士後期課程(D3)		計
3	60.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当専攻平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.4	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.490
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	4.4	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.800
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	4.4	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.800
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	4.6	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.490
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	4.6	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.800
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	4.4	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.800
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	4.8	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.400
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	4.6	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.490
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	5.0	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.000
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	4.2	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	0	0.980



■専攻

回答者数	3
------	---

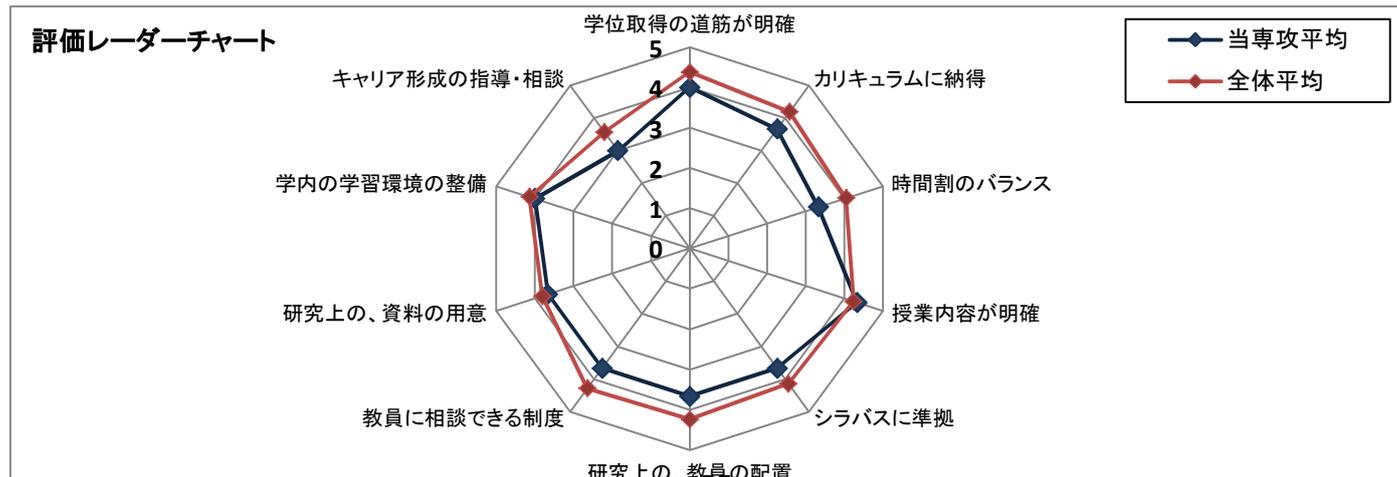
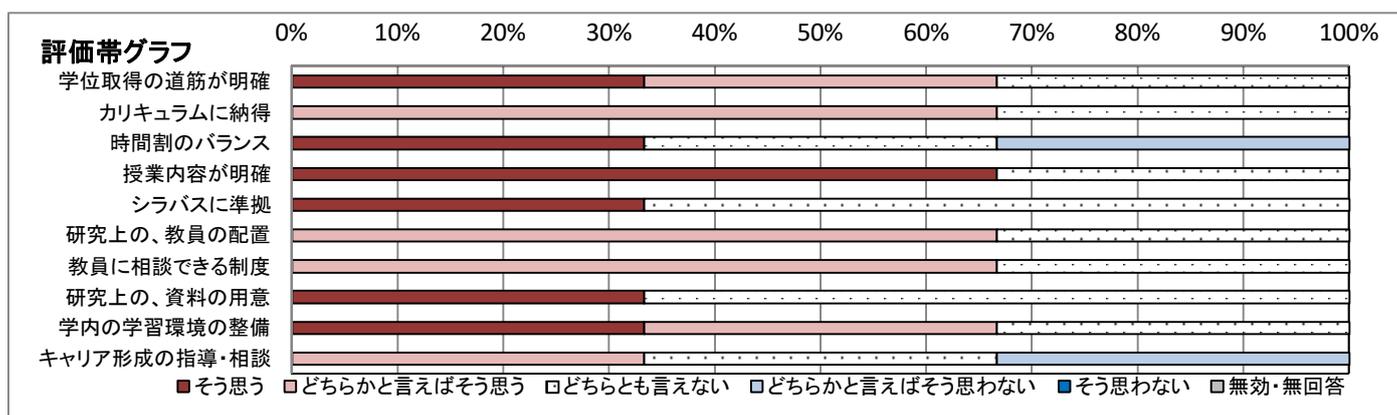
生活福祉文化専攻

■学年

修士課程(M1)		修士課程(M2)		博士前期課程(M1)		博士前期課程(M2)		博士後期課程(D1)		博士後期課程(D2)		博士後期課程(D3)		計
0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当専攻平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.0	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.817
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	3.7	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	3.3	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3	0	1.247
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	4.3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.943
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	3.7	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.943
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	3.7	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	3.7	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	3.7	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.943
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	4.0	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.817
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	3.0	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3	0	0.817



■専攻

回答者数	3
------	---

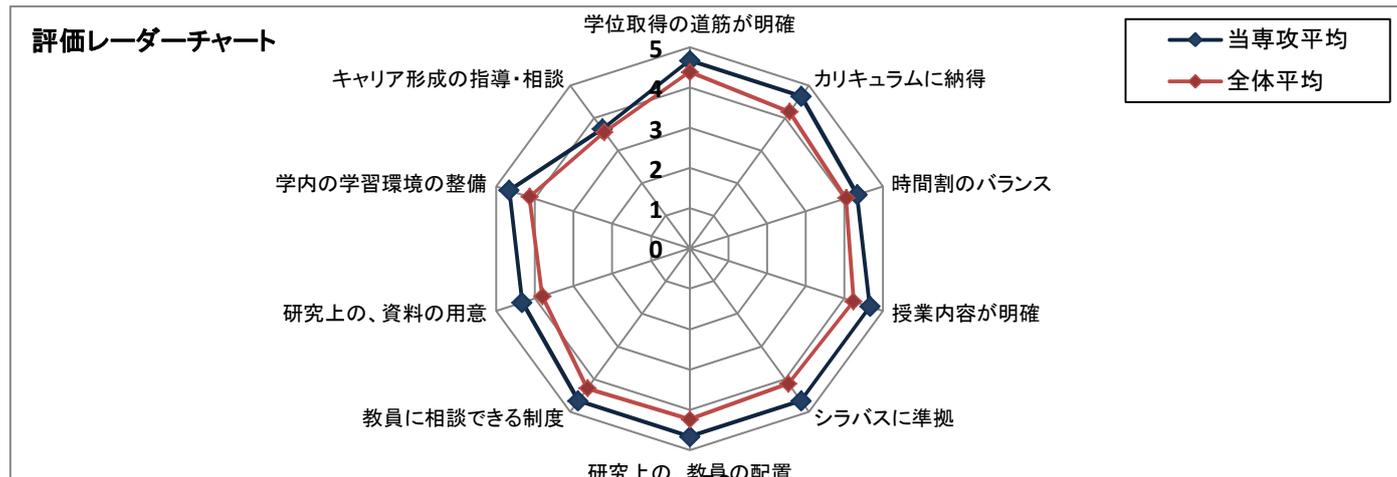
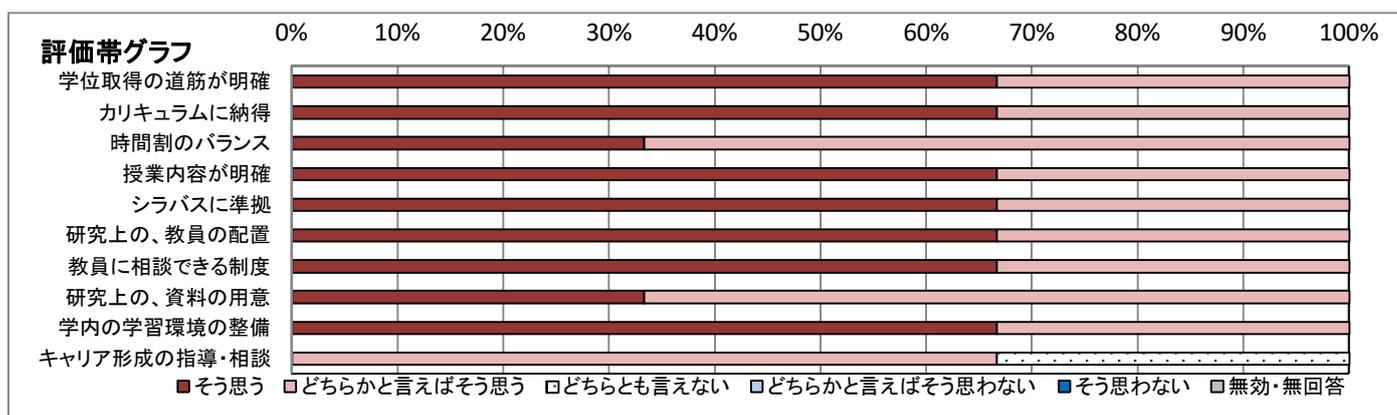
発達・学校心理学専攻

■学年

修士課程(M1)		修士課程(M2)		博士前期課程(M1)		博士前期課程(M2)		博士後期課程(D1)		博士後期課程(D2)		博士後期課程(D3)		計
1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3

5: そう思う 4: どちらかと言えばそう思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当専攻平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	4.3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	4.3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	4.7	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	3.7	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	0	0.471



■専攻

回答者数 10

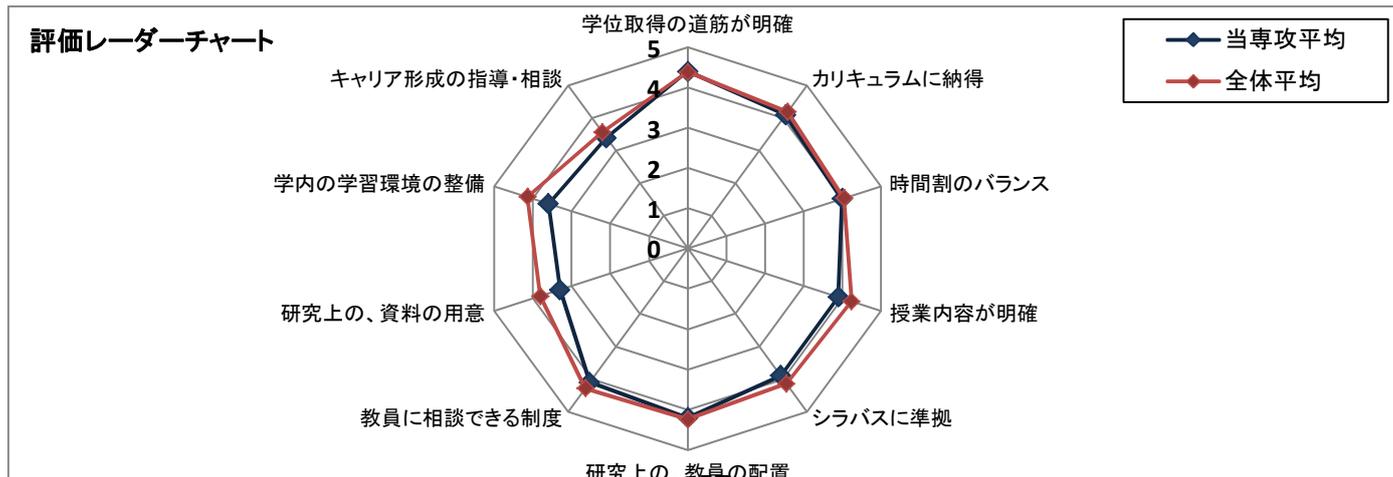
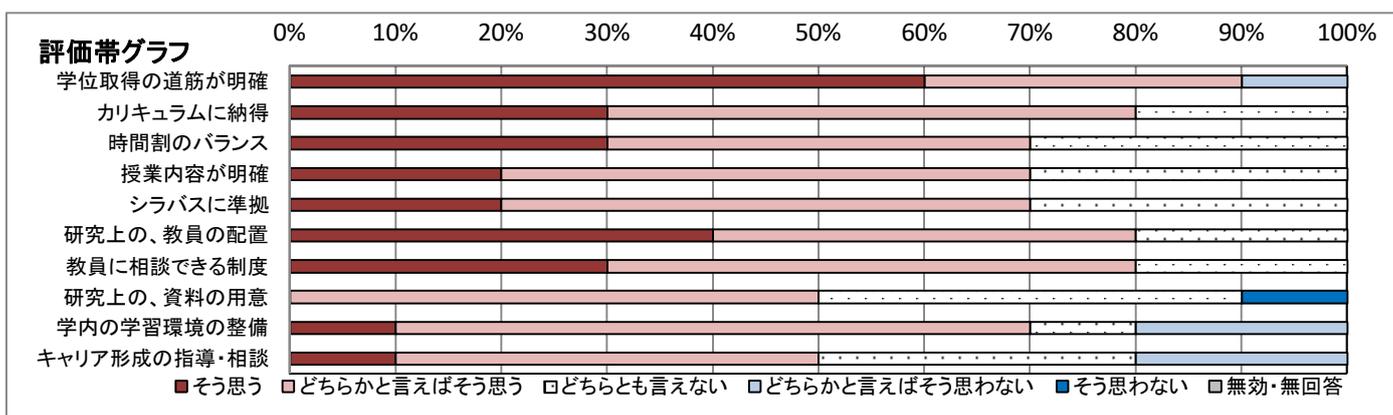
臨床心理学専攻

■学年

修士課程(M1)	修士課程(M2)	博士前期課程(M1)	博士前期課程(M2)	博士後期課程(D1)	博士後期課程(D2)	博士後期課程(D3)	計
3 30.0%	0 0.0%	3 30.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10

5: と思う 4: どちらかと言えば思う 3: どちらとも言えない 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない

No.	設問文	全体平均点	当専攻平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答	標準偏差
				5	4	3	2	1			
Q1	学位取得のための道筋が明確に示されている	4.4	4.4	6 60.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	10	0	0.917
Q2	提示されたカリキュラムは納得のいくものである	4.2	4.1	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.700
Q3	授業時間割はバランスよく配置されている	4.0	4.0	3 30.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.775
Q4	提供される科目の授業内容が明確に示されている	4.2	3.9	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.700
Q5	個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている	4.1	3.9	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.700
Q6	研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている	4.2	4.2	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.748
Q7	オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている	4.3	4.1	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10	0	0.700
Q8	研究科(専攻)、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている	3.8	3.3	0 0.0%	5 50.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	10	0	0.900
Q9	自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている	4.1	3.6	1 10.0%	6 60.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	10	0	0.917
Q10	キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている	3.6	3.4	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	10	0	0.917



4. 「大学院生による教育評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題

全学（大学院）のアンケート結果から、選択式設問においては、「学位取得のための道筋が明確に示されている」が全体平均点 4.4 と最も高く、次いで「オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている」が 4.3、「提示されたカリキュラムは納得のいくものである」、「提供される科目の授業内容が明確に示されている」および「研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている」がいずれも 4.2 であり、研究科や専攻別で見ると若干の評価の高低はみられたものの概ね本学のカリキュラムや教員の指導体制に納得していることが示された。このことから大学院生本人が自身の学位取得までのプロセスを具体的に思い描けている様子が伺える。一方、「自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている」は全体平均点が 4.1、「研究科（専攻）、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている」は 3.8 であったが、これらの項目は専攻による評価の差が大きく、研究内容の違いを考慮しても満足度に差があることが明らかとなった。また、「キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている」については、例年評価が低いことが問題視されているが、本年度も全体平均点が 3.6 であり、全項目中でもっとも低値となった。

自由記述では、どの専攻の学生からも「よかった点」として、教員から熱心で手厚い指導を受けることができたこと、担当教員だけでなく他分野の教員からも指導を受ける機会があったことなどが挙げられており、選択式設問の結果と同様、少人数制の利点を十分に享受できる指導体制であったことが示された。しかしながら「改善すべき点」として、教員が忙しく指導時間を十分に確保してもらえなかった、あるいは一部の教員の授業が満足のものではなかったという、教員の仕事配分に関する構造的な問題や、教員個人の資質に係わる指摘があり、全体的には高評価を得た指導体制ではあるが個別に解決すべき課題も明らかとなった。さらに多くの意見が集中したのは統計解析ソフトの使用環境に関する不満であった。加えて、選択式設問の結果でもっとも全体平均点が低値であった「キャリア形成」に関する率直な不安も吐露されていた。

これらの結果をふまえて、今後の課題を整理すると大きく以下の 2 点に要約できる。

ひとつは、「キャリア形成を視野に入れた指導を具現化する」ことである。学位取得までの道筋は学生に十分理解され、そこに至るまでの指導にも総じてみれば高い満足度を得ているといえるが、修士号を得た先のライフコースを描ききれない学生に対しては、さらなる指導が必要となる。本学にはロールモデルとなり得る教職員の存在などキャリア教育の資源が豊富にあることから、キャリア形成に関する学生の不安を解消するための有効な方策を講じることは可能であると考えられる。

ふたつめは「学習環境の改善を早急に実現する」ことである。特に具体的な指摘を受けた点については、対策の早期実行が望まれる。

本学の大学院教育の一層の充実を図るためには、学生からの意見を真摯に受け止め、今回顕在化した課題に対して、まずはそれぞれの専攻内で専攻ごとの特徴に合致した改善策を議論し、さらに学生一人一人に向き合った指導をより円滑に行えるように全学的な視点で協力体制を構築していくことが求められているといえよう。

文責：藤原 智子（現代人間学部福祉生活デザイン学科 FD 委員）

このアンケートは本学大学院の教育内容の改善を目的として実施します。
 特定の授業科目についてではなく、所属する研究科（専攻）の教育内容や教育環境について評価してください。
 成績評価とは全く関係ありませんので、設問に対して、率直に答えてください。

I. あなたの学年の番号を記入してください。（※科目等履修生の方は学年記入不要です。）

回答欄

1. 修士課程(M1) 2. 修士課程(M2) 3. 博士前期課程(M1) 4. 博士前期課程(M2)
 5. 博士後期課程(D1) 6. 博士後期課程(D2) 7. 博士後期課程(D3)

II. あなたの専攻の番号を記入してください。

回答欄

- 【人間文化研究科】 1. 応用英語専攻 2. 生活福祉文化専攻 3. 人間文化専攻
 【心理学研究科】 4. 発達・学校心理学専攻 5. 臨床心理学専攻 6. 心理学専攻 7. 科目等履修生

III. 以下の設問について、最もあてはまる回答番号を1つ選び、記入してください。

- 5 : そう思う 4 : どちらかと言えばそう思う 3 : どちらとも言えない
 2 : どちらかと言えばそう思わない 1 : そう思わない

回答欄

教育内容や教育環境について

- ① 学位取得のための道筋が明確に示されている
 ② 提示されたカリキュラムは納得のいくものである
 ③ 授業時間割はバランスよく配置されている
 ④ 提供される科目の授業内容が明確に示されている
 ⑤ 個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている
 ⑥ 研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている
 ⑦ オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている
 ⑧ 研究科（専攻）、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている
 ⑨ 自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている
 ⑩ キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている

IV. あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「よかった点」を記入してください。

V. あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「改善すべき点」を記入してください。

Ⅲ 2017（平成 29）年度 「FD研修会」実施報告

1. 実施概要

2017（平成 29）年度は FD 研修会として 2 つの研修会を実施した。専任教員は、希望する 1 つ以上の研修会に参加した。今年度の研修会の実施概要は以下のとおりである。

1. 内容・テーマ：「＜言語化実践＞と＜振り返り＞が受講生の成長を促す授業 — 低単位・低意欲層に向けたキャリア教育プログラム—」

日時：2017（平成 29）年 6 月 22 日（木） 16：50～18：00

場所：ユージニア館 3 階 アクティブラーニングスペース

講師：京都産業大学 文化学部 鬼塚 哲郎教授

コーディネーター：人間文化学科 中里 郁子講師

参加者：42 名（教員 35 名 職員 7 名）

概要：京都産業大学 文化学部 鬼塚 哲郎教授をお招きし、京都産業大学で鬼塚先生が中心となり低単位・低意欲の状況にある学生を対象に開講されている科目「キャリア・Re-デザイン」についてご講演いただいた。授業の内容が具体的に紹介され、学生がこの授業での自己開示、対話、他者からの応答を受けた振り返りをとおして、主体的に思考し行動する様子が述べられた。

講師による、「講演概要」は、次のとおり。「もともと低単位・低意欲の学生層に向けたキャリア科目としてデザインされた『キャリア・Re-デザイン』は、12 年間の実践のなかで大きく変化し、キャリア教育の枠組みを越え、教養教育のひとつの典型を示すものとなりつつある。ここでの「典型」とは、1) 教員からの刺激に対し受講生が応答する、その応答を授業運営者がファシリテータとして支援する、そのような授業として成り立っていること、2) 複数の専門家が教員団を構成しており、授業運営をめぐって議論する場を持つことにより、教員も学ぶ存在であることを再確認すること、の 2 つの意味を持つ。」

2. テーマ：「いのちを輝かす教育」

日時：2017（平成 29）年 7 月 7 日（金） 16：50～18：00

場所：ユージニア館 3 階 アクティブラーニングスペース

講師：眞田 雅子 学長

コーディネーター：福祉生活デザイン学科 藤原 智子教授

参加者：41 名（教員 33 名、職員 6 名、法人より 2 名）

概要：眞田雅子学長が講師として、自身が受けてきた教育、教育者としてのキャリア、本学の建学の精神とミッションコミットメント、担当科目「英語総合 I」での試みなどについて述べられた。参加した教職員は、学長の教育についての考えや熱意を共有することができた。

講師による、「講演概要」は、次のとおり。「私立学校の存在理由は、その建学の精神にあると言われている。京都ノートルダム女子大学の建学の精神は何かと問われれば、Faculty も Staff も一様に『徳と知』と答えるに違いない。ただ、その内容が、

今、この大学で、構成員の一人一人によって実現されているのかという問いには、ストレートな回答は困難である。『わたしたちの決意』として示された『ミッション・コミットメント』が、私たちの日常を表す言葉になる時、厳しい現実を、希望へと導くことを、具体例を挙げながら示したい。」

参加者数

	日程	学長 副学長	人間文化学部		現代人間学部			生活福祉文化 学部	徳と知 教育セ ンター	職員他	計
			英語英文 学科	人間文化 学科	福祉生活 デザイン 学科	心理学科	子ども教 育学科				
1	6月22 日(木)	2	5	4	3	11	9	1	0	7	42
2	7月7日 (金)	2	6	6	8	4	5	1	1	8	41
	参加者数 (延べ) 合計	4	11	10	11	15	14	2	1	15	83

(在籍教員数(専任、特任、嘱託) : 71)

2. 現状と今後の課題

(1) 低単位・低意欲層に向けた教養教育プログラム

今年度 FD 研修会の第一回は京都産業大学文化学部の鬼塚 哲郎教授をお迎えして、「<言語化実践>と<振り返り>が受講生の成長を促す授業 ―低単位・低意欲層に向けたキャリア教育プログラム―」というタイトルでご講演いただいた。42名の参加者があり、38.2%が「大変有意義であった」、47.1%が「有意義であった」と解答しており、満足度の高い研修会となった。

「キャリア・Re-デザイン」という科目は、複数の教員が意欲を失っている学生に積極的にかわり、能力の育成にフォーカスせずに、相互交流と対話によって学生の主体性を引き出すための教養教育プログラムとなっていること学び、大変刺激を与えられる内容のご講演であった。本学においても、自信がなく低単位や低意欲に陥っている学生をどのように指導するかという共通の課題があり、小規模な女子大学である本学において具体的に可能なプログラムを考えることが必要である。

(2) 建学の精神を具体化する教育

第二回の FD 研修会は、眞田雅子本学学長を講師として、「いのちを輝かす教育」というタイトルのもと実施された。本学の建学の精神を具体化し、学生が生き生きと学ぶ教育の実現に向けて、学長自身の体験と現在の授業をもとにお話いただいた。41名の参加者があり、39%が「大変有意義であった」、32%が「有意義であった」と解答しており、比較的満足度の高い研修会となった。

「人材よりも人物」を大切に育てる教育について取り上げられ、教員も学生と同じ地平に立って学ぶ存在であり、対等な人間として対話しつつ学生に向き合うことの重要性が強調された。

建学の精神に立ち返り、それを具体的な言葉「尊ぶ・対話する・共感する・行動する」として表現している「ミッションコミットメント」を日々の教育の中に現実化することの重要性を再認識する研修となった。私立大学としての本学の存在意義は、建学の精神を現在の教育の中にいかに生かして人

物を育てる教育を行うことができるかにあり、その精神を教職員が共有して日々の教育を行うための実践方法の探求がさらに必要である。

今年度の二つの FD 研修会を振り返り、教員が学生と対話しつつ教育活動を実践することが重要であることが再確認された。対話を重んじる教育が学生を意欲的にして、目的に向かって行動してゆける人物を育てることができるという認識が深まった。今後、これらの研修で得たことを、本学にふさわしい形態でどのように現実化するかということを中心に模索し、実践してゆくことが課題である。今後、今年度の FD 研修会での学びが日々の教育の向上に生かされてゆくことを期待したい。

文責： 中里 郁子（人間文化学部 人間文化学科 FD 委員）

IV 2017（平成 29）年度「オープンクラス」実施報告

1.実施概要

オープンクラスによる相互授業参観は、教員同士が互いの授業を公開し授業内容や方法について検討することによって、授業方法に関する知識や技能を共有できるなど、多くのメリットがある。本学では 2011（平成 23）年度よりオープンクラスを実施している。

2017（平成 29）年度は 3 週間のオープンクラス・ウィークを実施した。期間中は、原則として全ての学部開講授業を、本学の教職員と学生を対象に公開した。授業参観者から提出されたコメントシートには、参観した授業についての感想や助言が寄せられ、その内容は授業担当教員へ伝えられた。

2017（平成 29）年度「オープンクラス」実施状況

オープンクラス・ウィーク実施期間	参観者コメントシート提出数
10月23日(月)～11月10日(金)	29

2.現状と今後の課題

本年度のオープンクラスは後期に実施し、参加者コメントシートの提出は 29 であった。昨年度の後期に実施したオープンクラスでは 32 であったことと比べると、昨年度とほぼ同数の参加者であった。本学の現員教員数は 71 であるから、およそ 4 割の教員が今年度のオープンクラス・ウィークの期間中に同僚の授業を参観したことになる。

オープンクラスは多くの大学で実施されているが、本学のオープンクラスは、2013（平成 25）年度以降、2～3 週間と長めの期間を設定していること、受講生が極端に少ない場合などの特例を除いてほとんどすべての授業を公開し、教員各自が都合のよいときに参観できるようにしているところにある。今年度はその 5 年目であるが、本学の FD 活動の伝統として、今後も継続していくべきものであると考える。

ただし、オープンクラスを前期に実施した場合と後期に実施した場合とを比べると、後期に実施した場合は参加者が少なくなる傾向がみられる。これは、後期においては、教育実習の参観や卒業論文の指導などに時間を要することが主な理由であると思われる。次年度以降は、より多くの教員が参加できるように、実施の時期を再考する必要がある。

昨今の大学の FD 活動におけるオープンクラスは、教員が同僚の授業方法から学ぶ機会であるだけでなく、授業の中での学生の学びについて省察し合う機会であるというように、その意味が拡張されてきている。従来のように授業方法の良し悪しを検討するのではなく、授業の中のどこで学生の学びが成立していたか、どこで学生がつまずいていたかを、学生の表情や様子からつぶさに見取って、それとのつながりで授業方法を検討することが重要視されつつある。このことをとおして、教員同士が学問領域の壁を越えて「学生を共に育て合う関係」を築き学び合うことが、今まさに求められているのである。

文責： 田中 裕喜（現代人間学部 こども教育学科 FD 委員）

V 2017 (平成 29) 年度 全学 FD 教員研修会実施報告

1. 実施概要

今回の研修会は「社会とつながるゼミ運営」をテーマとし、酒井久美子准教授（福祉生活デザイン学科）と廣瀬直哉教授（心理学科）による事例報告がおこなわれた。

酒井准教授の事例報告「地域協働ふるじえくとー学生主体の活動を意識してー」では、酒井准教授が担当する地域福祉ゼミ（生活福祉文化特論・3年次ゼミ）で取り組んでいる「地域協働ふるじえくと」の活動が報告された。「地域協働ふるじえくと」は、教職員にとっては学内でのパン販売で親しみのある活動であるが、活動の背景や目標、これまでの活動の経緯、さらにゼミの授業として活動を展開するにあたっての工夫や課題について詳しく述べられた。

廣瀬教授の事例報告「プロジェクト学習を活用したゼミ運営」では、プロジェクト学習（PBL; Project-Based Learning）の意義や身につく能力が述べられたのち、廣瀬教授が担当するゼミ授業において2015年度と2016年度にNPO法人「歩くまち・京都」と行った共同プロジェクトの活動内容が紹介された。

事例報告を受けて後半は、参加者が各々担当するゼミ授業の状況等について、グループごとに話し合った。

日 時：2018（平成 30）年 2 月 21 日(水) 10：00 ～ 11：30

場 所：ユージニア館 大講義室

テーマ：「社会とつながるゼミ運営」

講 師：心理学科 廣瀬 直哉教授 福祉生活デザイン学科 酒井 久美子准教授

コーディネーター：FD 委員会（向山委員長、大川委員、中里委員、田中委員、藤原委員）

出席者数：59 名（教員 55 名、職員 4 名）

出席者の内訳：

学長	人間文化学部		現代人間学部			教員 出席者計	教員 現員数	参加率	職員
	英語英文	人間文化	福祉生活 デザイン	心理学科	こども 教育				
1	8	9	12	14	11	55	71	77.5%	4

2. 現状と今後の課題

今年度の全学 FD 教員研修会は、「他の先生方がどのようにゼミ運営をされているのかを知りたい」という教員の要望を踏まえ、また大学に対して社会連携、地域協働が求められている今日的な状況を鑑みて、「社会とつながるゼミ運営」をテーマとし、お二人の先生の教育実践の事例報告を中心にしておこなった。

酒井先生は、学生たちが地域にある課題に目を向け、自分たちにできることを考え、それを実践する活動な学びとして、ゼミを位置づけておられた。活動の内容のユニークさもさることながら、先生が学生主体の活動となるように学生との対話を重視され、時に「それは本当に自分たちのやりたい活動なのか」と揺さぶりをかけるとされたのが印象的だった。

廣瀬先生は、3年次のゼミを、現実社会で起こっている真正な (authentic) 問題の解決に他者と共同して取り組んでいくプロジェクト学習と位置づけられ、これをとおして学生たちに社会人基礎力をつけようとしているとお話くださった。ゼミで取り組まれた京都市の公共交通の利用促進のための調査、それを踏まえたアイデアの提供と情報発信について報告してくださった。

59名の参加者があり、参加者アンケートでは50.0%が「大変有意義であった」、46.4%が「有意義であった」と回答し、きわめて満足度の高い研修会となった。お二人の先生の事例報告のあとに少人数グループ（自分の所属している学科以外の教員と交流できるように配慮した）に分かれて意見交換をする時間を設けたが、そのこともまた好評であった。

参加者アンケートでは、FD活動として今後取り組んでみたい内容についても聞いてみた（複数回答可）。それによると、「学力不足学生への学習支援」21.5%、「キャリア教育」14.0%、「アクティブ・ラーニング」12.1%、「授業での情報機器の活用法」9.3%、「障害のある学生への支援・配慮」8.4%となっている。今後の企画の際の参考にしたい。

文責：田中 裕喜（現代人間学部 こども教育学科 FD委員）

FD 委員会構成員

委員長	向山	泰代	(現代人間学部 心理学科)
委員	大川	淳	(人間文化学部 英語英文学科)
委員	中里	郁子	(人間文化学部 人間文化学科)
委員	田中	裕喜	(現代人間学部 こども教育学科)
委員	藤原	智子	(現代人間学部 福祉生活デザイン学科)
事務局	研究・情報推進課		

京都ノートルダム女子大学

2017 (平成 29) 年度 FD 報告書

2018 (平成 30) 年 5 月 25 日発行

編 集	京都ノートルダム女子大学 FD 委員会 (事務局：研究・情報推進課)
発 行	京都ノートルダム女子大学 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1 番地 TEL (075) 781-1173 FAX (075) 706-3707 ホームページ http://www.notredame.ac.jp

授業評価アンケート
教育評価アンケート 株式会社 教育ソフトウェア
集計結果表作成
